

Ⅱ 学校教育

1. 市立学校の概要

1 - 1 市立小中学校一覧

	学 校 名	所 在 地	電 話	校 長	通常の学級		特別支援学級		教員数	
					学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数		
小 学 校	第一小学校	吉祥寺本町 4-17-16	22-1421	谷川 拓也	20	608			28	
	第二小学校	境 4-2-15	51-4478	松原 修	16	464			23	
	第三小学校	吉祥寺南町 2-35-9	43-2322	新井 保志	16	466	3	21	28	
	第四小学校	吉祥寺北町 2-4-5	22-1423	濱辺理佐子	12	340			28	
	第五小学校	関前 3-2-20	51-2196	鈴木健太郎	18	515			28	
	大野田小学校	吉祥寺北町 4-11-37	51-0511	赤羽 幸子	24	751	3	19	41	
	境南小学校	境南町 2-27-27	32-3401	杉谷 努	21	658	5	27	38	
	本宿小学校	吉祥寺東町 4-1-9	22-4723	越前 信	13	378			23	
	千川小学校	八幡町 3-5-25	51-3695	鈴木 恒雄	12	346			25	
	井之頭小学校	吉祥寺本町 3-27-19	51-7188	小澤 香子	20	599			36	
	関前南小学校	関前 3-37-26	53-7655	曾我 泉	15	422			22	
	桜野小学校	桜堤 1-8-19	53-5125	藤橋 義之	27	865	4	通級	53	
	小 計					214	6,412	15	67	373
	中 学 校	第一中学校	中町 3-9-5	51-8041	中嶋建一郎	10	330	1	通級	24
第二中学校		桜堤 1-7-31	52-2148	佐藤 敏数	12	396			32	
第三中学校		吉祥寺東町 1-23-8	22-1426	竹山 正弘	9	301			20	
第四中学校		吉祥寺北町 5-11-41	51-7675	喜連 寛武	13	471	5	31	33	
第五中学校		関前 2-10-20	52-0421	久山 洋介	8	254			19	
第六中学校		境 3-20-10	53-6311	鈴木 斉	7	234	1	0	18	
小 計					59	1,986	7	31	146	
合 計					273	8,398	22	98	519	

※数値は学校基本調査（令和6年5月1日現在）による。

※通級の児童・生徒数については、通常の学級の児童・生徒数に含む。

1 - 2 児童・生徒数、学級数

① 児童・生徒数

各年度5月1日現在（単位:人）

学校名 \ 年度		2	3	4	5	6
小 学 校	第一小学校	489	506	540	584	608
	第二小学校	412	441	460	480	464
	第三小学校	431 (10)	463 (13)	451 (15)	464 (18)	466 (21)
	第四小学校	359	365	369	373	340
	第五小学校	476	505	493	491	515
	大野田小学校	774 (27)	799 (29)	802 (23)	799 (20)	751 (19)
	境南小学校	546 (21)	575 (20)	594 (22)	615 (27)	658 (27)
	本宿小学校	395	396	404	390	378
	千川小学校	291	301	327	321	346
	井之頭小学校	555	571	614	617	599
	関前南小学校	337	358	391	426	422
	桜野小学校	967	954	931	901	865
小 計		6, 032 (58)	6, 234 (62)	6, 376 (60)	6, 461 (65)	6, 412 (67)
中 学 校	第一中学校	313	340	341	344	330
	第二中学校	423	412	401	390	396
	第三中学校	303	315	309	291	301
	第四中学校	446 (29)	459 (27)	468 (29)	462 (30)	471 (31)
	第五中学校	182	193	225	233	254
	第六中学校	222 (0)	226 (0)	245 (1)	241 (0)	234 (0)
小 計		1, 889 (29)	1, 945 (27)	1, 989 (30)	1, 961 (30)	1, 986 (31)
合 計		7, 921 (87)	8, 179 (89)	8, 365 (90)	8, 422 (95)	8, 398 (98)

- ・（ ）内の数は特別支援学級の児童・生徒数で外数
- ・令和2年度に千川小学校に特別支援教室拠点校を開設
- ・令和2年度に第二中学校の情緒障害等通級指導学級は特別支援教室に移行

②学級数

各年度５月１日現在

学校名 \ 年度		2	3	4	5	6
小 学 校	第一小学校	14	16	17	19	20
	第二小学校	13	13	14	15	16
	第三小学校	13(2)	14(2)	14(2)	15(3)	16(3)
	第四小学校	12	12	12	12	12
	第五小学校	15	16	17	16	18
	大野田小学校	24(5)	24(5)	25(4)	25(4)	24(3)
	境南小学校	18(4)	19(4)	20(4)	19(5)	21(5)
	本宿小学校	13	13	13	13	13
	千川小学校	11	11	11	11	12
	井之頭小学校	18	18	21	20	20
	関前南小学校	12	13	13	14	15
	桜野小学校	27(4)	28(4)	27(4)	27(4)	27(4)
	小 計	190(15)	197(15)	204(14)	206(16)	214(15)
中 学 校	第一中学校	9(1)	9(1)	9(1)	10(1)	10(1)
	第二中学校	12	12	12	12	12
	第三中学校	9	9	9	9	9
	第四中学校	12(5)	12(5)	12(5)	12(5)	13(5)
	第五中学校	6	6	6	7	8
	第六中学校	7(1)	7(1)	8(1)	7(1)	7(1)
小 計		55(7)	55(7)	56(7)	57(7)	59(6)
合 計		245(22)	252(22)	260(21)	263(23)	273(17)

・（ ）内の数は特別支援学級の学級数で外数

1 - 3 教員配置定数の推移

各年度 5 月 1 日現在 (単位:人)

学 校 名 \ 年 度		27	28	29	30	元	2	3	4	5	6
小 学 校	第一小学校	18	18	19	20	20	20	22	24	26	27
	第二小学校	19	20	19	19	20	19	19	20	21	22
	第三小学校	19	19	21	23	22	22	23	23	25	26
	第四小学校	25	24	24	28	30	24	25	24	23	25
	第五小学校	20	19	20	19	20	21	22	24	22	25
	大野田小学校	33	35	36	38	39	39	41	41	40	38
	境南小学校	29	28	29	29	30	30	31	32	32	35
	本宿小学校	18	18	18	18	19	19	19	19	19	19
	千川小学校	18	18	18	18	18	23	24	24	24	24
	井之頭小学校	23	23	25	26	29	31	31	34	33	34
	関前南小学校	17	17	17	17	18	18	19	19	20	21
	桜野小学校	41	43	43	48	49	48	51	50	49	50
小 計		280	282	289	303	314	314	327	334	334	346
中 学 校	第一中学校	22	20	20	20	21	22	22	21	22	22
	第二中学校	24	24	25	25	26	27	28	28	28	29
	第三中学校	21	21	19	19	19	19	19	19	19	20
	第四中学校	25	25	28	28	29	31	32	32	32	33
	第五中学校	19	19	17	17	17	16	15	16	17	18
	第六中学校	17	17	17	16	16	18	18	19	19	18
小 計		128	126	126	125	128	133	134	135	137	140
合 計		408	408	415	428	442	447	461	469	471	486

- ・産休・育業代替教員、充て指導主事、休職者、教員研究生、日本人学校派遣教員、非常勤教員等は除く。
- ・各種加配措置（指導方法工夫改善、不登校対応（中学校）、英語専科教員（小学校）、教科担任制（小学校）等）を含む。
- ・この他「学習指導講師（市講師）」の数は以下のとおり。

令和 6 年 5 月 1 日現在 (単位:人)

第一小	第二小	第三小	第四小	第五小	大野田小	境南小	本宿小	千川小
6	6	7	6	8	9	6	7	3
井之頭小	関前南小	桜野小	第一中	第二中	第三中	第四中	第五中	第六中
6	6	8	2	5	1	0	1	1

1 - 4 学区域

昭和22年11月の市制施行時における公立小中学校の数は、小学校が5校、中学校は1校であったがその後の学齢人口の増加に伴う学校新設ごとに学区域の調整を行い、平成8年4月に学校の新設としては最後である桜野小学校の開校による学区域変更を行いました。その後、大野田小地域及び桜野小地域の学齢人口が増加したことに伴い、令和2年4月に区域間の調整による学区域の変更を行い、現在の学区域に至ります。

なお、学区域の指定は、学校教育法施行令第5条第2項の規定に基づき、武蔵野市立学校学区に関する規則を制定して行っています。

武蔵野市立学校学区域表

令和2年4月1日から適用

学校名	町名・丁目	番・(号)	
第一小学校	吉祥寺本町	1	1～11
		2	1～20 24～34
		4	全域
	中町	3	全域
第二小学校	関前	5	全域
	境	1	全域
		2	1～22
		3	全域
		4	16を除く 全域
第三小学校	吉祥寺南町	1～5	全域
第四小学校	吉祥寺東町	1	1～6
		2	1～21
	吉祥寺北町	1	全域
		2	全域
		3	1～4
			10 (1～12・47～79)
			11～14
	15 (1～3・20～34)		
第五小学校	西久保	1～3	全域
	関前	3	2～5
大野田小学校	吉祥寺北町	3	5～9
			10 (13～46)
			15 (4～19) 16・17
		4	全域
	5	全域	
	緑町	1	1～3
		2	1～3
3		全域	
境南小学校	境南町	1～5	全域
本宿小学校	吉祥寺東町	1	7～25
		2	22～45
		3	全域
		4	全域
	吉祥寺本町	1	12～38
千川小学校	緑町	1	4～8
		2	4～6
	八幡町	1～4	全域
井之頭小学校	御殿山	1～2	全域
	吉祥寺本町	2	21～23 35
		3	全域
	中町	1～2	全域
関前南小学校	関前	1	全域
		2	全域
		3	1 6～41
		4	全域
桜野小学校	境	2	23～27
		4	16
		5	全域
	桜堤	1～3	全域

学校名	町名・丁目	番・(号)
第一中学校	御殿山	1～2 全域
	吉祥寺本町	1 1～11
		2 全域
		3 全域
第二中学校	境	4 全域
		1～3 全域
		2 23～27
	境南町	4 16
第三中学校	吉祥寺東町	5 全域
		3～5 全域
		1～3 全域
	吉祥寺南町	1～4 全域
第四中学校	吉祥寺本町	1～5 全域
		1 12～38
		1 1～14
	吉祥寺北町	2 1～6
第五中学校	吉祥寺北町	1 15～31
		2 7～21
		3 全域
	緑町	4 全域
第六中学校	八幡町	5 全域
		1～3 全域
		1～4 全域
	西久保	1～3 全域
第七中学校	関前	1～4 全域
		5 全域
		1 全域
	境	2 1～22
第八中学校	境	3 全域
		4 16を除く 全域
		1～2 全域
	境南町	1～2 全域

1 - 5 学校施設概要一覧

令和6年6月1日現在

学校名	敷地面積 (㎡)	校 舎		体 育 館		プー ル		備 考
		建築年月	延床面積 (㎡)	建築年月	延床面積 (㎡)	築造年度	規模 (㎡)	
第一小学校	10,591.04	昭和44. 3	6,104.74	昭和44.10	702	昭和35	25×10	
第二小学校	9,854.59	昭和43. 3	5,842.16	昭和43. 3	732	昭和43	25×10	
第三小学校	12,227.69 体育館棟敷地含む	昭和45. 3 昭和49. 2	7,110.92	昭和43. 3 昭和62. 7	1,503	昭和62	25×10	体育館2棟有り
第四小学校	13,045.00	昭和47. 5 昭和53.11	7,140.43	昭和44. 3	741	昭和36	25×10	
第五小学校	9,901.93	昭和36. 3 昭和48. 3	6,852.00	昭和47. 5	869	昭和37	25×10	
大野田小学校	15,051.77	平成17. 3 平成30. 2	14,022.81	昭和55. 3	1,261	平成17	25×11	
境南小学校	14,203.17	昭和47. 3 昭和51. 3	8,817.10	昭和51. 7	677	昭和51	25×10	借地分 56㎡
本宿小学校	11,518.23	昭和53. 9	7,819.92	昭和54. 3	795	昭和53	25×10	
千川小学校	10,427.37	平成 7. 3	10,108.72	平成8. 10	1,525	平成 7	25×10	自然体験園 観察小屋含む
井之頭小学校	10,222.69	昭和49.11	7,697.49	昭和62. 2	2,087	昭和61	25×11	
関前南小学校	14,778.44	昭和46. 5 令和 6. 2	5,253.84	昭和46. 5	771	昭和46	25×10	
桜野小学校	12,820.91	昭和52. 4 平成14. 3 平成22. 8 平成27. 3	10,834.96	平成14. 3	1,399	昭和42	25×10	
小学校計	144,642.83	—	97,605.09	—	13,062	—	—	
第一中学校	15,519.80	令和 4. 8 昭和63.10	9,241.07	昭和57.11	2,111	昭和57	25×11	借地分 15,520㎡
第二中学校	15,098.07	昭和43. 2	9,340.52	昭和59.11	2,829	昭和33	25×13	
第三中学校	14,586.68	昭和47. 3 昭和58. 3	8,770.90	昭和58. 3	2,216	昭和57	25×11	
第四中学校	19,996.22	昭和51. 8 平成 3. 6	15,988.80	平成 4. 6	3,322	平成 4	25×11	借地分 5,225㎡
第五中学校	20,241.71	令和 4. 8	6,687.57	昭和39. 3	1,298	昭和59	25×11	
第六中学校	12,697.02	昭和46. 3 昭和56. 3	8,017.05	昭和47. 2	1,100	昭和55	25×10	借地分 56㎡
中学校計	98,139.50	—	58,045.91	—	12,876	—	—	
合 計	242,782.33	—	155,651.00	—	25,938	—	—	

※ 校舎の延床面積は、体育館の延床面積を含む。

※ 第一中学校・第五中学校の校舎は、仮設校舎供用開始後の数値による。

1 - 6 各小中学校要覧

第一小学校



校長 谷川 拓也 副校長 米倉 麻起子

所在地 吉祥寺本町 4 - 1 7 - 1 6

TEL 0 4 2 2 (2 2) 1 4 2 1

FAX 0 4 2 2 (2 3) 0 3 9 4

H P <https://dail-e.musashino-city.ed.jp/>

主な沿革

- | | | |
|----|------|---|
| 明治 | 6 年 | 研礎学舎と称し、安養寺に創設 |
| | 8 年 | 吉祥寺小学校と改称 |
| | 26 年 | 武蔵野村吉祥寺尋常小学校に改称 |
| | 44 年 | 現在地へ校舎新築、移転。武蔵野村第一尋常小学校と改称し、開校記念日とする。 |
| 昭和 | 10 年 | 校歌制定（野口雨情作詞、藤井清水作曲） |
| | 16 年 | 武蔵野第一国民学校と改称 |
| | 22 年 | 市制施行により武蔵野市立武蔵野第一小学校と改称 |
| | | 三石館（旧体育館）落成、現在の校章が決まる。 |
| | 30 年 | 特殊学級（むらさき学級）開設（昭和 47 年第四小学校に移設） |
| | 35 年 | 開校 50 周年記念式典を挙行、国旗掲揚塔、石炭置場新設 |
| | 36 年 | 武蔵野市立第一小学校と校名変更、プール完成 |
| | 44 年 | 鉄筋コンクリート四階建現校舎落成、体育館落成 |
| | | 60 周年及び校舎落成記念式典を挙行 |
| | 49 年 | 訪問学級開設（昭和 60 年 3 月閉級） |
| | 54 年 | 文部省より保健体育優良校として表彰 |
| | 55 年 | 70 周年（開校 107 周年）記念式典を挙行、校庭遊具 6 基新設 |
| | 58 年 | 開校 110 周年記念式典を挙行 |
| | 63 年 | 学校施設開放運営委員会発足遊び場開放実施 |
| 平成 | 5 年 | 開校 120 周年記念式典を挙行 |
| | 15 年 | 東京都人権尊重教育推進校・武蔵野市教育研究校として発表会開催 |
| | | 開校 130 周年記念式典挙行 |
| | 16 年 | ビオトープ完成 |
| | 20 年 | 武蔵野市教育研究校として発表会開催、校庭一部芝生化 |
| | 21 年 | 校舎棟耐震補強工事 |
| | 25 年 | 武蔵野市教育課題研究開発校（環境教育）として発表会開催 |
| | | 開校 140 周年記念式典挙行 |
| | 26 年 | 「のびのびルーム」新設工事 |
| | 28 年 | 特別支援教室「かわせみ教室」新設工事、第 10 回むさしの教育フォーラム
～セカンドスクール 20 年を迎えて～「小・中学校合同セカンドスクール報告会」 |
| | 29 年 | 第 2 子どもクラブ教室新設工事 |
| | 30 年 | 校舎棟屋上防水改修工事、汚水枳改修工事 |
| | 31 年 | 体育館空調設置工事、保健室シャワー設置工事、4 階ミシン室普通教室化工事 |
| 令和 | 元年 | 平成 30・31 年 武蔵野市教育課題研究開発校（外国語活動・外国語）研究発表 |
| | 3 年 | 一小子どもクラブ増設及び一小あそべえ移転 |
| | | 学習者用コンピュータ導入 |
| | 4 年 | 全日本小学校バンドフェスティバル全国大会出場 日本管楽合奏コンテスト全国
大会出場 |
| | 5 年 | 東京都教育委員会児童生徒表彰 |
| | | 校舎外壁塗装等工事 |
| | | 日本管楽合奏コンテスト 全国大会出場 最優秀賞・審査員特別賞 |
| | | 開校 150 周年式典挙行 |

教育目標

(1) 学校の教育目標

○自分も人も大切にする子

◎自ら学ぶ子（重点目標）

○健康な子

- (2) 学校の教育目標を達成するための基本方針
- ア 「自分も人も大切にする子」を育成するために
- ① 全教育活動を通して人権教育を推進し、児童一人一人の人権意識・人権感覚を高める。
 - ② 多様性の理解を推進することで、様々な考えを受け止め、互いに尊重し合い、自分や他の人の大切さを認めようとする態度を養う。
 - ③ 生命を大切にする心や相手を思いやることができる豊かな人間性を育み、人と社会のつながりを大切にすることで、地域社会の一員としてよりよい地域づくりに意欲的に参画する資質や態度を育成する。
- イ 「自ら学ぶ子」を育成するために
- ① 各教科の指導・生活指導の充実を図ることで、児童に望ましい学習規律・規範意識を定着させ、主体的に学習する態度を育成する。
 - ② 「わかった」「できた」「楽しい」と感じる授業の実現を通して、児童に質の高い教育を提供するとともに、個に応じたきめ細かい指導により、基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を図る。また、思考力・判断力・表現力を高める教育活動を推進し、問題解決能力を高める。
- ウ 「健康な子」を育成するために
- ① 計画的な体育の授業や体力向上の取り組みの充実、外遊びの推進を通して、自分の心と体に関心をもたせ、基礎的な体力・運動能力を向上させる。心身の健康づくりに向けて運動量を十分に確保するとともに、体を動かす楽しさを感じさせることで、生涯にわたって健康で活力ある生活を送るための資質・能力を育てる。
 - ② 体験的な活動や異学年集団における協働により、望ましい人間関係を大切にしながら、協力し合う心や粘り強く学ぶ心を育むとともに、自分や周囲の健康で安全な生活を意識し、主体的に課題解決を図る力を育む。
 - ③ 家庭や地域と協力して、規則正しく健康的な生活習慣の定着を図り、学びと育ちの基盤を整える。

特色ある教育活動

- ア 「自分も人も大切にする子」を達成するため、特別の教科 道徳や総合的な学習の時間等を中心に全教育活動を通して人権教育を推進する。発達段階に合わせて、人権教育プログラムを活用し多様性を認め合う授業を実施したり、各教科や特別の教科 道徳では、武蔵野市子どもの権利条例を踏まえて、子どもの尊厳と権利について考える内容を取り入れたりすることで、人権の意義や重要性を正しく理解させ、自分や他の人の大切さを認めようとする態度を育む。
- イ 体育科の授業、大縄跳び・短縄跳び旬間、持久走旬間などの充実を通して、児童の体力・運動能力の向上と健康の維持増進を図る。更に、体力調査の結果から具体的な到達目標を設定し、児童に自己の課題を見付け、解決に向けて考え、判断する力を身に付けさせる。
- ウ 「障害者理解」「スポーツ志向」を高めるために、関係諸団体と連携してボッチャやシッティングバレーボール体験を継続して実施する。また、バレーボールやタグラグビー、水球のゲストティーチャーを取り入れた授業を実施することで、多様なスポーツへの興味・関心を高めるとともに、多様な人々が共に生きる社会の担い手としての資質・能力を育成する。
- エ 「安全プログラム」や「防災ノート」を活用した安全指導を年間計画に位置付ける。特に、防災教育では災害時の対応や日常的な備え、実践的な応急救護の実技について学ぶ。また第5学年総合的な学習の時間に防災の単元を位置付け、保護者や地域との合同防災訓練の活動を通して、自助・公助の意識や技能の向上を図り、地域防災の担い手となる資質を育てる。
- オ 地域コーディネーターと連携し、武蔵野市民科を中心に、地域のよさを十分に感じ取らせ、地域を愛する心情や国際理解・伝統文化に関する理解を深める。全学年における市民性を育成する教育を推進することで、地域社会と積極的に関わり貢献しようとする市民性を高める。
- カ 第1学年児童の小学校生活をスムーズにスタートさせるため、「武蔵野スタートカリキュラム改訂版」を活用した弾力的な指導計画の作成や取組を推進し、幼保子の学びや育ちを生かしながら、小学校6年間の学びや生活の基盤をつくる。「小・中学校合同研修会」では、学習指導や生活指導等の共通理解を促進し、小・中学校間が連携した取組の充実を図ることで、児童に見通しと期待をもたせ、新たな環境において自立的に生きるための基礎を身に付ける。
- キ 日々の音楽授業や音楽集会・音楽会を通して、表現する楽しさや鑑賞する喜びを味わわせながら豊かな情操を育てる。吹奏楽団の活動では、自他の立場を尊重し仲間と関わる意識、地道な努力を継続する姿勢を育み、音楽のみならず全人的な成長を促す。

第二小学校



校長 松原 修

副校長 藤間 研吾

所在地 境4-2-15

TEL 0422(51)4478

FAX 0422(55)5027

H P <https://dai2-e.musashino-city.ed.jp/>

主な沿革

- 明治 6年 「栄境学舎」観音院の一室に開校
8年 「境学校」と校名改称 杵築神社に移転
18年 「隆明小学校」と校名改称
24年 初代校長 窪田半三郎就任
26年 「隆明尋常小学校」と校名改称
43年 現市民会館の地に校舎を新築移転
44年 武蔵野村第二尋常小学校と校名改称 4月15日を開校記念日と定める
- 昭和 6年 武蔵野町第二尋常小学校と校名改称
16年 武蔵野第二国民学校と校名改称
22年 4月1日 武蔵野町立武蔵野第二小学校と校名改称
11月1日 武蔵野市立武蔵野第二小学校と校名改称
36年 東京都武蔵野市立第二小学校と校名改称
43年 新校舎竣工、旧校舎より移転（現在位置に移る） 新校舎、体育館落成記念式典挙行
- 平成 7年 第1回セカンドスクール実施（長野県高遠町 6泊7日） ノーチャイム始まる。
10年 第4回セカンドスクール実施地変更（富山県利賀村 6泊7日）
15年 開校130周年記念式典挙行
25年 開校140周年記念式典挙行 岩石園整備
- 令和 2年 新型コロナウイルス感染症の影響で、セカンドスクール等宿泊行事が中止となる
3年 全児童に学習者用コンピュータが配布される 2年ぶりにセカンドスクール実施
4年 第二学童クラブを移動し普通教室化 廊下LED照明増設
6年生『iisakaii 武蔵野二小 特別号』作成（武蔵野市民科）
武蔵野市教育委員会調査研究協力校「自信と意欲を高める教育」
二小桜更新（伐採）
第27回セカンドスクール実施日数変更（富山県南砺市利賀村 6泊7日）
6年生「照らそう 境の町」イルミネーション点灯式（武蔵野市民科）
開校150周年に向けて、PTAよりミニサッカーゴールを寄贈
- 5年 開校150周年記念バルーンリリース
開校150周年記念式典・祝賀会挙行 第二小学校旧校地（現市民会館）に記念碑建立
6年生「とんがらしかりんとう」配布（武蔵野市民科）
- 6年 武蔵野市教育課題研究開発校（1年次）

子どもたちの「笑顔」と「夢」があふれる学校

教育目標

自他の人権を尊重し、自ら人生を切り拓き、多様な他者と協働してよりよい未来の創り手となる児童を育てる。

- ◎ やさしく 多様性を認め、尊重し合う児童
- かしこく 自ら学び、考え、行動する児童
- たくましく これからの時代を生きる能力を身に付け、最後までやり遂げる児童

特色ある教育活動

- ◎ 武蔵野市民科を、二小地域の教育資源や文化的環境等を積極的に活用した探究的で、教科等横断的な学習として高学年に位置付け、多様性を尊重し、そのよさを生かしながら、社会の一員としてよりよい地域・社会づくりに参画していく態度を育成する。また、地域コーディネーターとの連携を図り、学校・地域・保護者が一体となった教育活動を推進し、「自立」「協働」「社会参画」に関する資質・能力を育てる。
- ・ セカンドスクール等長期宿泊体験活動については、事前事後の学習活動との関連性を明確にし、各学年の指導計画に適切に位置付けるとともに、新しいことに挑戦し、仲間と協力して最後までやり遂げる機会とする。
- ・ 年間指導計画に基づき、学校ビオトープや独歩の森などの自然環境や、武蔵野の森を育てる会や青少協などの地域の人的資源を生かした活動を通して、環境保全、自然愛護、地域の一員としての自覚、人との触れ合いを大切にする心などを育む。
- ◎ たてわり班活動や児童集会等の異学年交流の場を意図的・計画的に設定し、児童が協働し、互いに認め高め合う豊かな人間関係を育む。
- ◎ 課外の吹奏楽部の活動を通して、音楽的な情操を高めるとともに生涯にわたって音楽に親しむ基礎を培う。学校行事や児童朝会、地域の行事等で日常の練習成果を発表し、自信と意欲を育む。
- ◎ 和太鼓や箏をクラブ活動や音楽の授業でも積極的に取り入れ、連合音楽会や学校行事等で成果を発表することを通して、日本の伝統・文化を大切にする心や郷土を愛する心情を育てる。
- ・ 月に2回、朝学習の時間を活用し、児童の発達段階に応じて、情報モラルや学習者用コンピュータの使い方を学ぶ時間を設定する。
- ・ 近隣の保育園・幼稚園・こども園、高齢者や地域関係機関等との交流活動を通じた多様な人との関わりの中で、お互いを理解、尊重するコミュニケーション能力の育成を図り、地域社会の一員としての自覚を促す。
- ・ 25分間の中休みと昼休みを活用し、運動に親しむ習慣を身に付け、体力向上に努めるとともに、遊びを通して相手を思いやる優しさを育む。
- ・ 体力調査の結果から強化すべき運動を選択し、その対策として、学期に1回の「二小オリンピック」を設定し体力の向上を図る。
- ◎ 「学校いじめ防止基本方針」に基づき、いじめ防止対策委員会を中心に組織的に取り組むとともに、家庭・地域・あそべえ・学童クラブ等の関係諸機関と連携し、いじめの未然防止、早期発見、早期解決を図り、いじめを許さない教育を推進する。
- ◎ 特別な支援を必要とする児童の保護者との連携を深め、学校生活支援シートや個別指導計画、登校支援シートを作成し、児童一人一人の教育的ニーズを確実に把握するとともに、適切な指導と必要な支援、合理的配慮など、計画的で切れ目のない支援を行う。



第三小学校

校長 新井 保志 副校長 笥田 貴之

所在地 吉祥寺南町 2-35-9

TEL 0422 (43) 2322

FAX 0422 (43) 9481

H P <https://dai3-e.musashino-city.ed.jp/>

主な沿革

- 昭和 5 年 武蔵野町立第三尋常小学校として開校
22 年 武蔵野市立第三小学校と校名変更
45 年 鉄筋校舎落成・創立40周年記念式典
- 平成14年 東京都教育委員会職員表彰学校賞受賞、東日本学校吹奏楽大会（仙台）大賞受賞
16 年 文部科学省・東京都教育委員会指定学力向上フロンティアスクール
国立教育政策研究所教育課程研究指定校、
21 年 校舎耐震補強工事、日本管楽合奏コンテスト全国大会最優秀賞受賞
22 年 創立80周年記念式典、東京都確かな学力向上実践研究推進校研究協議会実施
23 年 東京都教育委員会習熟度別少人数指導実践研究推進校
24 年 東京都教育委員会習熟度別少人数指導実践研究推進校研究協議会実施
25 年 武蔵野市教育委員会教育奨励校として研究発表
26 年 第29回時事通信社「教育奨励賞」努力賞受賞
27 年 国立教育政策研究所学習指導実践研究協力校、
東京都教育委員会理数フロンティア校
28 年 国立教育政策研究所学習指導実践研究協力校、武蔵野市教育委員会教育研究奨励校として発表
29 年 特別支援学級ひまわり学級開設 国立教育政策研究所学習指導実践研究協力校
30 年 国立教育政策研究所学習指導実践研究協力校、武蔵野市教育委員会教育研究奨励校として発表
- 令和元年 国立教育政策研究所学習指導実践研究協力校
東日本学校吹奏楽大会（金沢）銀賞受賞
2 年 国立教育政策研究所学習指導実践研究協力校、武蔵野市教育委員会教育課題研究開発校
日本管楽合奏コンテスト全国大会小学校部門 最優秀賞受賞
TBS こども音楽コンクール小学校管楽合奏部門 優秀賞受賞
開校 90 周年記念式典
3 年 国立教育政策研究所学習指導実践研究協力校、武蔵野市教育委員会教育課題研究開発校として発表
東日本学校吹奏楽大会（北海道）銀賞受賞
4 年 国立教育政策研究所学習指導実践研究協力校、武蔵野市教育委員会教育課題研究開発校
東日本学校吹奏楽大会（東京）金賞受賞
5 年 国立教育政策研究所学習指導実践研究協力校、武蔵野市教育委員会教育課題研究開発校として発表
東日本学校吹奏楽大会（山梨）金賞受賞

教育目標

本校の開校以来の校訓「松のようにたくましく、桜のようにうつくしく、こぶしのように清らかに」を踏まえて、本校の教育目標を設定する。人間尊重の精神に基づき、心豊かな知性と感性、道徳心や体力を育み、時代の変化に主体的に対応できる個性・能力を伸ばす教育を推進する。そのために、次のような目指す子ども像を掲げる。

- ◎思いやりのある子ども（重点目標） ○よく学び考える子ども
- 明るく元気な子ども ○進んではたらく子ども

特色ある教育活動

- ① 「なかよしの木」や「人権標語」などの取組を通して、児童一人一人の人権意識・人権感覚に対する意識を高め、人権教育の推進を図る。
- ② 運動する機会を充実させるために、体育的活動を低・中・高に分けて実施する。オンラインを活用して天候に左右されず行えるようにする等の工夫をした体育的活動を業間休みに実施する。運動の楽しさや喜びを味わわせるとともに体力の向上を図る。
- ③ 休み時間における外遊びを奨励し、健康づくりを推進する。また毎週木曜日には、クラス遊びを行い、集団意識を高める。
- ④ 毎週金曜日の朝学習を「読書の時間」とし、年間2回の読書旬間を設け、朝読書を2週間継続し、読書意欲を高める活動を行う。学校司書を活用するとともに市立図書館との連携を図りながら読書意欲の向上と読書活動の充実に努める。
- ⑤ 個別支援教室「ひこうき雲」及び学習支援教室「金曜まなべえ」を実施し、児童の課題に応じた個別指導を行い基礎学力の向上を図る。
- ⑥ 武蔵野自然塾から講師を招き、ビオランドを活用した自然観察をする活動や宿泊行事における自然体験を通して、環境や自然と人間との関わりについて理解を深めるとともに、環境保全に向けて児童たちが主体的に行動する態度を育む。
- ⑦ 「吹奏楽団」の活動を生かして、児童の音楽的情操を育むとともに、対外的な演奏の場や機会を通して、地域や他校との交流の架け橋とする。
- ⑧ 音楽朝会を通して、音楽活動への意欲を高め、音楽を愛好する心情を育てる。各学年の日頃の音楽活動への成果を発表する機会を設ける。
- ⑨ 低学年で年間5時間の国際理解教育を計画し、外国語指導助手（ALT）とコミュニケーションを図ることにより、外国の文化に親しむ態度の素地を養う。
- ⑩ ひまわり学級児童や副籍児童との交流を計画的に実施し、特性を理解し、違いを認め合い、互いに優しく接することができるようにする。ひまわり学級との交流を通して多様性を尊重し、障害を理解する心情を子供たちに浸透させる取組を実施する。

第四小学校



校 長 濱辺 理佐子 副校長 本橋 大喜

所在地 吉祥寺北町 2-4-5
 TEL 0422 (22) 1423
 0422 (22) 1443 (はなみずき教室)
 FAX 0422 (22) 7022
 0422 (22) 1443 (はなみずき教室)
 H P <https://dai4-e.musashino-city.ed.jp/>

主な沿革

昭和	16 年	東京府北多摩郡武蔵野第四国民学校として開校
	22 年	東京都武蔵野市立武蔵野第四小学校と校名の変更
	30 年	北校舎 6 教室落成 二部授業解消
	36 年	プール完成
	44 年	体育館落成
	47 年	新校舎完成 (鉄筋 4 階、一部地下)
	50 年	武蔵野市立第四小学校と校名変更
	53 年	校舎増築完成 (鉄筋 2 階)
平成	3 年	開校 50 周年記念式典
	10 年	市教育研究校として発表 (国語)
	12 年	北校舎改修完了 コンピュータルーム設置
	13 年	開校 60 周年記念式典
	14 年	ビオトープ完成 市教育研究校として発表 (総合的な学習の時間・生活科)
	16 年	太陽光発電装置設置 市教育研究校として発表 (算数)
	18 年	校庭雨水貯留槽設置 体育館床改修工事 南校舎外壁塗装 アスベスト除去工事实施
	19 年	通級指導学級「はなみずき学級」開級
	21 年	校庭整備工事終了 市教育研究校として発表 (国語) 北校舎棟 (東棟・西棟) 耐震補強工事
	23 年	開校 70 周年記念式典 市教育課題研究開発校として発表 (ICT 活用)
	25 年	体育館天井改修及び照明更新工事
	26～27 年	東京都教育委員会言語能力向上拠点校 市教育委員会教育課題研究開発校
	28 年	東京都教職員表彰 (読書活動の推進等)
	29～30 年	市教育委員会小中連携教育研究協力校
	30 年	「くすのき」教室開設 文部科学大臣教職員表彰
令和	元年	北校舎外壁改修工事完了 体育館用冷暖房機設置工事完了 第 1 回 芸術祭
	2 年	武蔵野市運動能力向上モデル校 南校舎トイレ改修工事完了
	3 年	開校 80 周年記念式典 東京都教職員表彰 (子供の体力向上推進優秀校)
	4 年	東京都教職員表彰 (子供の体力向上推進優秀校)
	5 年	給排水管改修工事完了 四小子どもクラブ増設等改修工事完了

教育目標

国際社会の中で多様な他者と協調しながら新たな価値を創造し、すすんで社会に貢献する人間性豊かな児童を育成するために、教育目標を次のように設定する。

○たくましい子 ○思いやりがある子 ◎よく考える子 ○進んで働く子

特色ある教育活動

- ◎「あいさつは 心をこめて 自分から 目を見て えがおで 元気よく」をモットーに気持ちよい挨拶ができるようにし、校内の言語環境を整え、言葉遣いを意識させて、望ましい人間関係の育成を図る。
- ◎「自信を高めて、主体的に取り組む子の育成」を校内研究の主題に掲げ、全教育活動を通じて児童の自尊感情を高めるとともに、自尊感情測定尺度を用いて児童理解に努める。
- ◎学区小・中学校の児童・生徒との交流や教育研修を行い、中学校へのスムーズな接続を目指す。
- ◎「武蔵野スタートカリキュラム」を活用し、入学直後の1年生が安心して学校生活を送ることができるようにする。また、幼稚園、保育園等との職員交流や合同研修会を実施し、職員相互の理解を深めながら教育活動にあたる。
- ◎「開かれた学校づくり協議会」では、学校教育目標と目指す資質・能力を共有し、委員に児童の学習活動の協力を仰ぎ、委員と協働して教育活動を行い、共に学校を創る体制をつくる。
- ◎地域コーディネーターを活用し、地域の方々と学びの連携を深めることで、キャリア教育の充実を図るとともに、武蔵野市を愛する児童を育てる。
- ◎体育指導の改善を推進し、運動の楽しさと喜びを味わわせるとともに、個人差を考慮しながら児童一人一人にできた実感を十分に体感できる授業を行うことで、何事にも挑戦する児童の育成を図る。
- ◎行事等は、実施内容、方法を十分に検討しながら、児童の自主性、自立性を育てていくことができるようにする。行事等の取組の中で、児童一人一人が自分たちの取組を振り返り、自己の成長を感じたり、次の目標を設定したりすることができるように指導する。
- 学校司書や市立図書館との一層の連携や各教科指導における図書活用の充実を図り、読書環境の整備、充実に努める。また年3回の読書旬間、毎週木曜日の朝読書を通して「四小おすすめの100冊」を推奨し、図書に慣れ親しみ主体的に読書活動を進められるようにする。
- 学年園を活用した植物の栽培活動を通して、生命の大切さに気付かせ生長の不思議や面白さ、収穫の喜び、継続して世話をしていく楽しさを経験させ、身近な自然を大切にする心情を育てる。
- 四小の森、ビオトープ、近隣の公園など身近な自然環境をフィールドとした学習を展開するとともに、リサイクル等の環境保全のための教育を推進する。
- 和楽器の演奏、能楽など地域の人材を活用した伝統芸能に関わる授業を行うことで、我が国の歴史や伝統文化を理解し、尊重する態度を育てる。
- 吹奏楽団が児童や保護者、地域の人々に向けて演奏する機会を設け、音楽に親しむことを通して豊かな情操を育む。
- 障害者スポーツに触れ、障害者福祉について学ぶことを「学校2020レガシー」として位置付け、計画的に実施し、体験的な学習を通してボランティアマインドを育む。
- 特別支援教室と連携し、ひらがなの読みの学習を計画的に実施し、特殊音節に焦点を当て文字や語句の正しい読み書きを指導する。また児童の特性に応じて、合理的な配慮を行う。

第五小学校



校長 鈴木 健太郎 副校長 水崎 一誠

所在地 関前3-2-20

TEL 0422 (51) 2196

FAX 0422 (55) 5036

H P <https://dai5-e.musashino-city.ed.jp/>

主な沿革

- 昭和 21年 武蔵野国民学校として発足
22年 市立武蔵野第五小学校と校名変更
35年 鉄筋校舎（北校舎）落成
36年 武蔵野市立第五小学校と校名変更
48年 鉄筋新校舎（西校舎）落成
57年 学校保健統計調査の文部大臣表彰
- 平成 元年 ランチルーム完成
7年 文部省むし歯予防推進指定校研究発表
8年 開校50周年記念式典挙行
10年 市教育研究校として研究発表
13年 ISO14001登録校となる ビオトープ工事完了 市教育研究校として研究発表
15年 体育館耐震工事完了 全国学校ビオトープ奨励賞受賞
18年 市教育課題研究開発校研究発表
19年 開校60周年記念式典挙行 市教育研究奨励校研究発表
20年 北校舎棟耐震補強工事
21年 西校舎棟耐震補強工事 市教育研究奨励校研究発表
22年 雨水貯留浸透施設設置及びグラウンド整備完了 西校舎トイレ改修工事完了
23年 全普通教室空調設備設置工事完了
24年 校旗新調
25年 市教育研究奨励校として研究発表
27年 オリンピック・パラリンピック教育推進校
28年 開校70周年記念式典挙行
30年 市教育研究奨励校研究発表
31年 校内研究「コミュニケーション能力の育成」
- 令和 2年 市教育課題研究開発校（深い学びの実現）
『深い学び』による資質・能力の向上をめざした授業の創造
3年 市教育課題研究開発校 『深い学び』による資質・能力の育成 研究発表
4年 市調査研究協力校「自信と意欲を高める教育」
5年 学校改築基本設計

教育目標

人間尊重の精神を基調とし 生涯学習の視点に立って 知性と感性に富み たくましく生きる
人間性豊かな児童の育成を目指す

健康なくして 学びなし

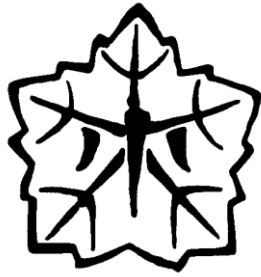
元氣 本氣 根氣

「気」のあふれる学校を目指す

今年度の重点的な取組

- ① 「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指し、児童が互いの思いや考え方を「やり取り」しながら学びを深めていく学習過程を工夫する。また、「やり取り」を通して互いを尊重（リスペクト）し合い、よりよい人間関係形成に資することができるようにする。
- ② 校内研究では「夢をかなえる」をテーマとして、生活科・総合的な学習の時間・武蔵野市民科の全体計画・指導計画について、カリキュラムマネジメントの視点から改善を図り、教科横断的な視点に立った単元を構成し、児童が主体的・協働的に取り組み、判断していく探究的な学習を展開するとともに、地域の教育力を教育活動に生かして、様々な人と関わる活動や体験学習を充実させる。
- ③ 読書活動や児童が本に触れる機会を重視し、学校司書と連携しながら「読書センター」「学習センター」「情報センター」としての学校図書館の機能を充実させる。
- ④ 「武蔵野市子どもの権利条例」に基づき、子どもの権利尊重の視点から本校のきまりや約束、仕組みや環境などを見直しと改善を行うとともに、家庭・地域と連携しながら学習規律や基本的な生活習慣の定着を図る。
- ⑤ 都スクールカウンセラーや市派遣相談員、市スクールソーシャルワーカー他、関係機関と連携し、対象児童やその保護者とのつながりの維持を工夫しながら不登校対策に取り組む。
- ⑥ 特別活動では、学習過程と活動のねらいを明確にし、児童の主体性を生かした活動を充実させる。活動後の振り返りを重視して、児童の変容を見取り評価することで、集団の中で児童一人一人が自己有用感を味わい、自己肯定感を高められるようにする。また、異年齢集団による交流（たてわり班活動）を充実させ、思いやりや規範意識を育み、豊かな人間関係を形成できるようにする。
- ⑦ 運動技能の習得過程と指導のポイントを押さえ、個に応じた指導や運動課題の解決を目指す授業を充実させる。また、ゲストティーチャーを招聘し運動することの楽しさを味わいながら、意義や価値等に触れられるようにする。
- ⑧ 特別支援校内委員会を月1回実施して情報を共有し、児童の状況や保護者の要望を把握して適切な支援方法や体制を検討する。通常学級と特別支援教室（かわせみ）、個別支援教室（つばめ）が相互に連携を密にして、一人一人のニーズに応じた適切な支援が行えるようにする。
- ⑨ 児童が身近なところで音楽や美術にふれたり主体的に創作活動を行ったりできるような環境をつくるとともに、図書の時間及び朝読書の時間や読書週間等を活用し、絵本・詩・物語など様々な文芸作品に触れられるようにして学校生活を豊かにし、情操を育む。
- ⑩ 自校給食のよさを生かし、児童が栄養士や調理員の話聞く機会を設けたり、給食食材に関わる活動を行ったりすることを通して、食育への意識付けを行う。
- ⑪ 「学校・家庭・地域の協働体制」を整備し、開かれた学校づくり協議会の在り方や開催方法、学校評価アンケート及び学校関係者評価の実施方法の検討・工夫・改善を図る。
- ⑫ 令和7年度から始まる第五中学校との同敷地内での教育活動を見据えた、情報共有と調整を進めていくとともに、同中学校区である関前南小学校を踏まえた3校の連携を密にとっていくための具体的方策を検討・推進していく。

大野田小学校



校長 赤羽 幸子 副校長 小泉 裕樹

所在地 吉祥寺北町4-11-37
TEL 0422 (51) 0511
0422 (51) 0513 (むらさき・いぶき学級)
FAX 0422 (53) 8634
H P <https://oonoden-e.musashino-city.ed.jp/>

主な沿革

- 昭和 26年 大野田小学校の認可を受ける
30年 むらさき学級開設
46年 開校20周年記念式典及び祝賀会を挙行
48年 校舎落成祝賀式挙行(旧校舎)
56年 開校30周年記念式典及び祝賀会を挙行
- 平成 3年 いぶき学級、千川小学校より移管
開校40周年記念式典及び祝賀会を挙行
13年 開校50周年記念式典及び祝賀会を挙行
14年 仮校舎での教育活動開始
15年 武蔵野市教育研究奨励校・誌上発表 新校舎建設工事開始
17年 新校舎落成記念式典挙行 パブリックアート除幕式
武蔵野市教育研究奨励校・研究発表
18年 武蔵野市教育研究推進校 文部科学省豊かな体験活動研究協力校
経済産業省資源エネルギー庁エネルギー教育推進校
公立学校優良施設表彰 奨励賞受賞
19年 武蔵野市教育研究校研究発表会開催
21年 東京都職員表彰受賞(環境教育)
武蔵野市教育研究推進校
22年 武蔵野市教育研究推進校研究発表
23年 開校60周年記念式典及び祝賀会を挙行 武蔵野市教育研究推進校
24年 武蔵野市教育研究推進校研究発表
27年 武蔵野市教育課題研究開発校指定
28年 武蔵野市教育課題研究開発校研究発表
29年 武蔵野市教育委員会モデル校(タブレットPC活用)
- 令和 元年 武蔵野市教育課題研究開発校(外国語教育)研究発表
2年 武蔵野市運動能力向上モデル校指定
3年 開校70周年記念式典及び祝賀会を挙行
5年 武蔵野市教育課題研究開発校指定
6年 武蔵野市教育課題研究開発校2年次(武蔵野市民科)

教育目標

人権尊重の精神を基調とし、豊かな心と生涯学び続ける態度を培い、確かな学力と正しい判断力、主体的な行動力と高い社会性を身に付け、地域社会や国際社会に貢献できる児童の育成を図る。

◎深く考える子(重点目標) ・明るく思いやりのある子 ・強くたくましい子

特色ある教育活動

- ① 交流共同学習支援員の協力のもと、併設の特別支援学級と教科の学習活動や日常的な交流を積極的に行う。また、特別支援学校との副籍交流や障害のある方との交流を通して、障害者理解を深め、多様性を認め合い、支え合おうとする態度を育む。
- ② 地域コーディネーターを窓口として、よりよい地域・社会づくりに向けて、新たな課題を見つけ探求する学習を展開する。地域の諸機関と連携し、地域の特徴やよさを知るとともに武蔵野市民科の取組を積極的に発信し、地域社会に開かれた学校づくりを進める。
- ③ 第1学年は「武蔵野スタートカリキュラム」を活用した取組を10時間程度、年初めに実施することで、児童の幼児期の学びや育ちを基盤に、意欲と安心感をもって小学校生活を送ることができるようにする。また、保幼子職員との交流・情報交換等を行い連携を図る。
- ④ 体力調査の結果を基に、自分が高めたい体力や運動技能を児童自ら考え、取り組むよう意識付けを行う。また、体力調査の結果を踏まえて体力の向上に向けて「大野田ギネス」、日常的に運動に親しむ環境作りなど、体力向上や体を動かす習慣づくりに努める。
- ⑤ 1・2年生は外国語活動を実施し、英語に慣れ親しみ国際理解を深める。
- ⑥ 吹奏楽クラブの活動を通し、音楽に親しみながら、互いのよさを認め、高め合う経験を通して、個性の伸長と感性を育む。その際、地域協力者や部活動指導員との連携による持続可能な運営体制づくりを進める。
- ⑦ 「開かれた学校づくり協議会」において教育目標等の共有及び実現に向けた協働、その成果としての学校評価（保護者アンケート・関係者評価）による教育活動の一層の改善・充実を図る。

境南小学校



校長 杉谷 努 副校長 水上 卓哉

所在地 境南町 2 - 2 7 - 2 7

TEL 0 4 2 2 (3 2) 3 4 0 1

0 4 2 2 (3 4) 8 3 7 1 (けやき学級)

0 4 2 2 (3 2) 6 1 4 0 (いとすぎ学級)

FAX 0 4 2 2 (3 2) 1 9 4 3

H P <https://kyounan-e.musashino-city.ed.jp>

主な沿革

- 昭和 26 年 武蔵野市立境南小学校設立
34 年 下校庭拡張工事完成
47 年 東校舎落成 開校 20 周年記念式典
48 年 いとすぎ学級 (病弱虚弱学級・武蔵野赤十字病院内) 開設
50 年 西校舎、給食棟、プール落成
55 年 けやき学級 (知的障害児学級) 開設
平成 元年 ランチルーム完成
13 年 世代間交流事業「ふれあいサロン」開講
「境南自然ガーデン (ビオトープ) 」完成
15 年 読書活動優秀実践校として文部科学大臣賞表彰
17 年 校舎耐震補強工事完了
23 年 理科園移設 境南子どもクラブ落成 開校 60 周年記念式典
25 年 下校庭一部芝生化
26 年 いとすぎ学級 40 周年記念式典
27 年 平成 26・27 年度武蔵野市教育委員会研究奨励校 研究発表会
28 年 体力向上推進優秀校受賞 オリンピック・パラリンピック教育重点校指定
29 年 小中連携教育研究協力校「武蔵野市民科 (仮称) 」
30 年 武蔵野市食育モデル校
31 年 武蔵野市モデル校 (武蔵野市民科実践)
令和 02 年 武蔵野市教育課題研究開発校 (武蔵野市民科) 中間報告会
03 年 開校 70 周年記念集会
03 年 武蔵野市教育課題研究開発校 (武蔵野市民科) 研究発表会
04 年 開校 70 周年記念式典・祝賀会
06 年 武蔵野市教育研究奨励校
06 年 武蔵野市教育委員会モデル校「学校・家庭・地域の協働体制に係る事業」

教育目標

- ① よく考える子 〈重点目標 1〉
- ② 進んで取り組む子 〈重点目標 2〉
- ③ やさしい子
- ④ 元気な子

特色ある教育活動

- ① 生活科・総合的な学習の時間を中核とした教育活動全体で「武蔵野市民科」で育てる資質・能力の育成に取り組む。地域コーディネーター等と連携して地域の教育資源（人・もの・こと）を生かした探究的な活動の具現化を図ることで、自信と意欲を高め、「自立」「協働」「社会参画」に資する能力を育む。
- ② 「スタートカリキュラム」を充実させ、地域の幼稚園、保育園、こども園との連携を通して情報共有や子供理解を行い、就学前の学びや育ちを基に、児童が入学時から主体的に自己を発揮して学校生活を作ることができるようにする。
- ③ けやき学級・いとすぎ学級との交流及び共同学習や、特別支援教育に関する理解教育を推進することで、多様性や障害に対する理解と認識を深め、共に生きようとする態度を育てる。
- ④ 武蔵野赤十字病院や外部人材を活用しながら保健指導や心の教育を実施することで、心と体の健康についての関心や理解を深め、望ましい生活習慣における自己管理能力を育成する。
- ⑤ 「開かれた学校づくり協議会」のモデル校として保護者・地域と協働した学びをつくるとともに関係者評価を通して学校運営の改善に取り組む。
- ⑥ 体育的行事や文化的行事の計画や運営に児童も参画できるようにすることを通して、児童の主体性を育成する。
- ⑦ 境南フェスティバルや児童と開かれた学校づくり協議員との連携、生活科・総合的な学習の時間の更なる充実等を通して、地域や保護者との連携を充実しさせていく。
- ⑧ 一律に提出を求める「宿題」を示さず、自ら学ぶ「主体的な学び方」を身に付けられるよう支援をする。
- ⑨ 体育朝会や体育集会を通して、児童の遊びの種類を増やすことで外遊びを推進し、体力向上・健康増進に取り組む。



本宿小学校

校長 越前 信 副校長 原田 久美

所在地 吉祥寺東町 4-1-9

TEL 0422 (22) 4723

FAX 0422 (21) 7692

H P <https://honjuku-e.musashino-city.ed.jp/>

主な沿革

- 昭和 27 年 武蔵野市立本宿小学校開校
30 年 武蔵野市研究奨励校（社会科）研究発表
37 年 武蔵野市教育研究協力校 教育評価に関する研究発表
54 年 校舎落成記念式典挙行
57 年 武蔵野市研究奨励校 研究発表
平成 元年 ランチルーム落成記念式典挙行
7 年 都ボランティア協力校（7・8・9年度）
10 年 都消費者教育・環境教育等課題研究校（10・11年度）
12 年 武蔵野市教育研究奨励校・総合的な学習の時間（12・13年度）
14 年 武蔵野市教育研究奨励校・全教科領域（14・15年度）
15 年 文部科学省環境教育実践モデル校（15・16年度）
18 年 武蔵野市教育研究奨励校（道徳）研究発表
19 年 図書室の全面リニューアル
22 年 武蔵野市教育研究奨励校（社会科・生活科）研究発表
23 年 普通教室空調設備設置
25 年 武蔵野市教育課題研究開発校（防災教育）研究発表
26 年 武蔵野市防災教育モデル校
27 年 武蔵野市学校安全教育モデル校 全国・東京都学校安全教育研究大会開催校
29 年 特別支援教室（はなみずき教室）開設
30 年 武蔵野市教育研究奨励校・国語科（29・30年度）
31 年 武蔵野市教育研究奨励校（国語科）研究発表
親子方式給食開始
令和 2 年 体育館冷暖房機設置
令和 4 年 開校 70 周年記念式典挙行

教育目標

人権尊重の精神を基盤とし、心豊かにたくましく生きることのできる、心身ともに健康で知性と感性に富んだ児童の育成を図る。

◎心の豊かな子 考える子 ○ねばり強い子 元気な子 はたらく子
＜重点目標＞ 「心の豊かな子」 「ねばり強い子」

学校の教育目標を達成するための基本方針

- ・ 人権教育や「特別の教科 道徳」を要とし、多様性を認め合い生かしていこうとする態度を育む。
- ・ 学校行事や体験活動を通して、一人一人の自信を高め意欲を育むとともに、他者への思いやりの心を育む。
- ・ 主体的・対話的で深い学びや習得・活用・探究等の学習過程の中で、各教科の「見方・考え方」を働かせた学びの充実を図る。
- ・ 学習者が主体となる問題解決的な学習を実施し、課題を見付ける力や思考力・判断力・表現力を育成し、予測困難な時代を生きる力を育む。

- ・ 保健指導や運動の日常化を推進し、意欲的に活動することができる児童を育成し、健康的な生活習慣を身に付けさせ、丈夫な身体やたくましい心を育てる。
- ・ 全教育活動を通して健康、安全に関する教育・食育を推進し、自分の健康や命を守る生活習慣や危険から身を守る方法を考えて行動する力を育む。
- ・ 自己の目標の達成に向けて努力して成し遂げる活動を充実させ、最後まで諦めずに取り組む力を育てる。
- ・ 児童の成長や課題について家庭と共有して、一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導・支援の充実を図る。
- ・ 日常の学級活動や学校行事等の実施方法を工夫し、集団の一員として自分の役割に責任をもって果たそうとする態度を育む。
- ・ 異学年交流や清掃、委員会等の活動の充実を図り、人の役に立つ喜びを味わえるようにすることで、自己有用感を育む。

特色ある教育活動

- ① 運動会やはとの子発表会等の学校行事や長期宿泊体験活動において、過程を重視した学習を行う。また、自尊感情測定尺度を活用し、その変容を見取り改善することで、児童一人一人が集団の中で自己有用感を味わい、自己肯定感を高められるようにする。
- ② 社会科・理科において学年内で教科担任制を実施し、授業の質的向上を図るとともに、児童理解を深める。
- ③ 体力づくり週間を年間5回設定し、体を動かす活動を充実させることで、日常的に運動に親しませ、運動の習慣化を図る。
- ④ 地域人材を活用した学習を継続させるため、地域連携教育を年間指導計画に位置付け、分掌主任を中心に、ゲストティーチャー等地域の教育資源を活用した教育活動に組織的・計画的に取り組む。
- ⑤ 子どもの尊厳と権利の尊さについて考えることができるよう、「武蔵野市子どもの権利条例」を踏まえた学習活動を特別活動、道徳科、武蔵野市民科を中心に展開する。
- ⑥ 交流給食や卒業お祝い給食会、リザーブ給食、世界の料理等を実施して、食育リーダーと栄養士が連携し、望ましい食習慣づくりを行う。
- ⑦ 「SOSの出し方に関する教育」を全学年の保健、特別活動等の指導計画に位置付けるとともに、外部機関と連携することで、困ったときに相談する力を育成する。
- ⑧ 不登校支援として、「学習室」の運営計画を改善し、校内体制を整えることで、児童が安心して過ごせる居場所をつくるとともに、一人一人のニーズに合わせた学習が行えるようにする。
- ⑨ 特別支援教育校内委員会で個に応じた指導について共通理解を図り、校内支援体制を充実させる。また、特別支援教室と連携して全学年で特別支援理解教育を実施し、障害への理解を深めて、多様な他者と共生する力を育む。
- ⑩ 吹奏楽団によるファイナルコンサート、ジュニアバンドジョイントコンサート等での演奏を通し、豊かな情操と協調性を養う。はとの子発表会・作品展等を通して、児童の表現力や豊かな情操を培うとともに、自主性や責任感を育み自信と意欲を高める。

千川小学校



校長 鈴木 恒雄 副校長 雨宮 加奈

所在地 八幡町 3-5-25
TEL 0422 (51) 3695
FAX 0422 (55) 5039
HP <https://senkawa-e.musashino-city.ed.jp/>

主な沿革

- 昭和 29 年 武蔵野市立関前小学校として開校
42 年 武蔵野市立千川小学校と校名変更
平成 2 年 新校舎基本構想発表
3 年 武蔵野市研究奨励校（特別活動）研究発表
4 年 全国道徳特別活動教育研究会会場校
新校舎基本計画発表
5 年 東京都小学校放送教育研究大会開催
新校舎改築工事着工
7 年 新校舎棟落成・開校 40 周年記念式典挙行
体育館棟改築工事着工
8 年 体育館棟落成
10 年 武蔵野市教育研究校（算数）研究発表
11 年 武蔵野市教育委員会教育研究奨励校
12 年 自然体験園（わくわく広場）開園式
13 年 武蔵野市教育委員会ホームページ活用モデル校
16 年 武蔵野市教育研究奨励校（算数）研究発表
開校 50 周年記念式典挙行
18 年 武蔵野市教育研究校（体育）研究発表
20 年 武蔵野市教育研究校（道徳）研究発表
21 年 武蔵野市教育課題研究開発校（特別支援教育）研究発表
24 年 武蔵野市教育委員会教育課題研究開発校（平成 24 年・25 年度）指定
25 年 武蔵野市教育課題研究開発校（算数・ICT 機器の活用）研究発表
26 年 武蔵野市教育委員会教育課題研究開発校として研究発表
開校 60 周年記念式典挙行
28 年 武蔵野市教育委員会教育課題研究開発校（平成 28・29 年度）指定
29 年 武蔵野市教育委員会教育課題研究開発校として研究発表
令和 2 年 開校 65 周年記念集会 SENKA 輪ハッピーフェスタ開催

教育目標

人間尊重の精神と豊かな心の育成を基盤とし、生涯学習の基礎を培う学習をすすめ、心身共に健康で、主体的に学ぶことのできる人間性豊かな児童を育成する。

- ◎よく考える子ども 自主性と創造性を伸ばし、生涯にわたる学習の基礎を培う。
- 仲良く助け合う子ども 相手の気持ちを感じ取れる感性や思いやり、誰とでも仲良くできる協調性や社会性を養う。
- 明るく元気な子ども 自他の生命を尊び、健康で主体的な生活ができるような心と体を育てる。
- すすんで働く子ども 地域の一員としての自覚をもち、勤労と責任を重んじる心を育てる。

特色ある教育活動

- ◎①オープンスクールの特色を生かし有効活用した複線型の学習を展開する。また、全教職員が「全校担任」の意識をもって全ての児童の指導に当たり、支援を充実させる。
- ②「ラーニングセンター」では芸術家や児童、地域の方による千川小アートギャラリー、「ふれあいホール」では児童の音楽・演劇、学習発表やプロの演奏会などを行うことで創造力と表現力を養い、豊かな感性と情操を培う。
- ◎③学校図書館モデル校の実践を生かし、学校図書館の「学習ステーション」「情報ステーション」としての機能を高め、課題解決能力を育成する。また、学校司書や市立図書館と連携し、全校読書や年2回の読書ウィークス、保護者による読み聞かせ等の活動を充実させることにより、読書に親しもうとする態度、豊かな感性や情緒を育むとともに知的好奇心や創造力、表現力を育成する。
- ◎④自然観察園「わくわく広場」での自然との触れ合いや栽培活動を行い、自然保護や環境保全に向けて主体的に行動する態度を育成する。
- ⑤外部人材や地域農業関係者、青少協など地域の方々や千川おやじ〜ず（PTA 内組織）との連携を積極的に深め、地域・保護者と一体化した学校づくりを行う。
- ⑥開かれた学校づくり協議会、保護者、児童や教職員による学校評価の結果を基に、教育活動の成果と課題の検証を行い、学校運営の改善と発展を目指す。
- ⑦ボッチャ体験等を取り入れた総合的な学習を通して、体力向上や健康づくりに自ら取り組む態度や、公正・公平な態度、日本の文化と共に異文化も理解しようとする態度を育成する。
- ⑧朝の時間などを利用し、月1回保健指導と栄養指導を行うことで、健康的な生活について理解を深めるとともに自身で健康増進への意識を高めるようにする。
- ⑨「千川小合唱団」の活動を充実させ、歌う楽しみや鑑賞する喜びを味わわせるとともに豊かな情操と個性の伸長を図る。
- ⑩外国語によるコミュニケーション能力の育成を図るために、ALT（外国語指導助手）の積極的な活用を行う。休み時間を利用して、CLILL 要素を取り入れたミニクラスを開き、その楽しさを味わわせる。
- ⑪令和6年度開校70周年記念事業を通して地域コーディネーターや地域の諸機関と連携し、地域のよさを知るとともに学校の取組を積極的に発信し、地域社会に開かれた学校づくりを進める。

井之頭小学校



校長 小澤 香子 副校長 大澤 史典

所在地 吉祥寺本町3-27-19
TEL 0422 (51) 7188
0422 (51) 7500 (かわせみ教室)
FAX 0422 (55) 5049
0422 (51) 7500 (かわせみ教室)
H P <https://inokashira-e.musashino-city.ed.jp/>

【 主な沿革 】

- 昭和 30 年 武蔵野市立井之頭小学校開校
31 年 校歌制定
50 年 校舎落成式
51 年 東京都愛鳥モデル校に指定
平成 10 年 富士宮市立井之頭小学校と交流開始
14 年 校庭ビオトープ設置 太陽光発電装置設置
15 年 東京都消費者・環境教育課題研究 全国学校ビオトープコンクールにて奨励賞
18 年 東京都愛鳥モデル校「第 60 回愛鳥週間全国野鳥保護のつどい」にて環境大臣賞
武蔵野市教育委員会教育研究校研究発表（算数・情報）
20 年 武蔵野市教育委員会研究奨励校研究発表（国語）
23 年 東京都教育委員会人権教育推進校研究発表
26 年 情緒障害等通級指導学級「かわせみ学級」開級
27 年 「第 69 回愛鳥週間全国野鳥保護のつどい」にて文部科学大臣奨励賞
開校 60 周年記念式典
28 年 武蔵野市教育課題研究開発校研究発表（算数）
令和 元年 東京都教育委員会プログラミング教育推進校
武蔵野市教育研究奨励校として研究報告
4 年 武蔵野市教育研究奨励校として研究発表

【 教育目標 】

人権尊重の精神を基盤とし、心身共に健康で知性と感性に富み、多様な他者と協働しながら主体的、創造的に考え行動する児童の育成を図る。

◎すすんで学ぶ子 ○心豊かな子 ○きたえる子（◎は重点目標）

「すすんで学ぶ子」の育成

- ・各教科等において、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指し、「児童を主体」とした指導の工夫やカリキュラム・マネジメントを行うことで、未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力の育成と生きて働く知識及び技能の確実な習得を目指す。
- ・学習者用コンピュータを適切かつ効果的に活用し、考えを発信したり深めたりする指導の工夫を行うことで、デジタル・シティズンシップを含む情報活用能力を育成する。
- ・地域の人材や教育的資源を活用した教育活動を推進することで、よりよい地域・社会づくりを考え、他者と協働してよりよい生活を築こうとする資質や能力を育成する。

「心豊かな子」の育成

- ・道徳教育の充実を図り、人権教育や多様性を認め合う教育を推進することで、自他を尊重する精神や多様な他者を認め合おうとする態度を育む。

- ・家庭、地域、関係機関と連携を図りながらいじめ防止・早期解決に向けた取組を推進することで、互いのことを認め合おうとする態度を育てる。
- ・他者と協働しながら問題発見、課題解決を積み重ねる特別活動を充実することを通して集団の一員としてよりよい生活を主体的に追究しようとする態度を育てる。

「きたえる子」の育成

- ・児童の実態を把握し、体育的な諸活動を充実させることで、運動することの楽しさを味わい、主体的に体力向上に取り組む態度を育てる。
- ・地域や関係機関と連携しながら安全教育を推進することで、安全に係る意識を高め、健康で安全な生活を送ろうとする資質・能力を育てる。

【 特色ある教育活動 】

- ・市民性を育成する教育を推進するため、全学年において「自立」「協働」「社会参画」を見据えた教育活動を充実させる。
- ・月1回、朝の時間に「情報モラル指導」を実施する。デジタル・シティズンシップ教育の推進やSNS家庭ルールの定着を図るため、家庭と学校で連携を図る。
- ・豊かな情操を養うために、「朝読書」や保護者や教員による「読み聞かせ」、児童の図書委員会の取組を充実させ読書活動を推進する。また、学校司書と連携しながら「学習センター」「情報センター」として教科等の特性に応じて、学校図書館を活用する。
- ・多様性への理解を深め自他を認め合う態度を育むため、特別支援の理解教育を全学年で実施するとともに年間4回の手話朝会を実施する。
- ・入学時から児童が主体的に自己を発揮して学校生活を送ることができるように、「スタートカリキュラム」の充実を図る。
- ・幼稚園、保育園、子ども園とのよりよい接続や児童理解に努めるために、幼児と児童、保育者と教員との対話や交流の機会を充実させる。
- ・体力の向上を図り健康づくりに取り組む意欲や態度を育成するため、休み時間の外遊びを励行するとともに、児童が中心となって企画する体力づくりの取組を推進する。
- ・身近な自然環境に対する関心を培うとともに、生命を慈しむ心と態度を養うために、愛鳥モデル校としての愛鳥活動や、井の頭恩賜公園や学校ビオトープ等を活用した動植物の観察、ふれあいの活動を行う。
- ・多様な人々とよりよい人間関係を形成し、社会性を育むため、セカンドスクール・プレセカンドスクールでは、豊かな自然や文化と触れ合い、現地の人々と交流する体験的な活動を通して、児童の主体的・協働的な学びを充実させる。

【 特別支援教育 】

- ・一人一人の教育的ニーズに応じた支援を適切かつ迅速に行うため、特別支援教育コーディネーターを中心として、校内委員会やケース会議を計画的に開催する。また、都SC、市派遣相談員、専門家スタッフ、サポートスタッフの活用と連携の強化に努める。
- ・一人一人の教育的ニーズに応じた支援を適切かつ効果的に行うため、学級担任と特別支援教室担当教員が連携し、特別支援教室の指導方法を通常学級でも取り入れる。
- ・ユニバーサルデザインの視点に立った学習環境を整えるため、特別支援教室での実践を生かす。

関前南小学校



校長 曾我 泉 副校長 中瀬 雅美

所在地 関前 3-37-26

TEL 0422 (53) 7655

FAX 0422 (55) 5097

H P <https://sekimaeminami-e.musashino-city.ed.jp/>

主な沿革

昭和	46 年	市立関前南小学校の創設
	56 年	開校 10 周年記念式典挙行
	61 年	子ども相撲用の土俵完成
	62 年	小学校体育研究会研究協力校 武蔵野市教育研究奨励校として研究発表
平成	2 年	特色ある教育活動として吹奏楽団を組織
	3 年	開校 20 周年記念式典挙行
	4 年	東京都人権尊重教育推進校 教育研究奨励校として研究発表
	7 年	武蔵野市教育研究校として研究発表 セカンドスクール開始
	8 年	武蔵野市教育研究奨励校（～平成 9 年まで）
	12 年	武蔵野市教育研究校として研究発表
	13 年	開校 30 周年記念式典挙行 市教育研究奨励校 太陽光パネル設置
	15 年	プレセカンドスクール開始 地域児童館あそべえ開設
	16 年	ビオトープ完成
	17・19 年	武蔵野市教育課題研究開発校として研究発表
	21 年	武蔵野市教育課題研究奨励校として研究発表
	22 年	吹奏楽クラブ第 29 回全日本小学校バンドフェスティバル銅賞
	23 年	開校 40 周年記念式典挙行
		吹奏楽クラブ第 30 回全日本小学校バンドフェスティバル銅賞
	25 年	吹奏楽クラブ第 13 回東日本小学校吹奏楽大会銅賞
		武蔵野市教育研究奨励校として研究発表
	26 年	吹奏楽クラブ第 14 回東日本小学校吹奏楽大会銀賞
	27 年	吹奏楽クラブ第 15 回東日本小学校吹奏楽大会銀賞
		連続 3 年出場の表彰を受ける
	28 年	武蔵野市教育研究奨励校として研究発表
		吹奏楽クラブ第 35 回全日本小学校バンドフェスティバル東京都大会金賞
	30・31 年	武蔵野市教育研究奨励校
令和	3 年	開校 50 周年記念式典挙行
	4・5 年	武蔵野市教育課題研究開発校として研究発表
	6 年	南校舎増築 運用開始

1 教育目標

自らの人生を切り拓き、多様な他者と協働してよりよい未来の創り手となる児童の育成を目指し、以下の目標を定め、「また明日行きたくなる学校～『こうしたい』『やってみたい』『やってよかった』のある居場所」をキーワードに教育活動を推進していく。

人間尊重の教育を基盤として、心身ともにたくましく、情操豊かで創造力に富み、生涯にわたって自己陶冶をめざす児童を育成する。さらに、進んで国際社会に参加、協力できる能力と態度を培う。

ア しっかり考える子ども[重点目標] イ すなおでやさしい子ども ウ 元気な子ども

2 基本方針

ア 「しっかり考える子ども」を育成するために

- ・各教科における「見方、考え方」を生かし、習得・活用・探究の学習過程を通して学びを深めることのできる主体的・対話的な教科指導の推進
- ・授業改善推進プランを基にした、教員の授業力向上と児童の学びに向かう力の涵養を図る学習過程・単元づくりの推進
- ・思考力・判断力・表現力を育むための言語活動の充実と学校図書館を活用した読書活動の推進
- ・対話を通して多様な考えを共有し、生かすとともに解決策を見出す教育活動の推進
- ・キャリア・パスポート等を活用した、今の自分を見つめ直し、自信を高める教育活動の推進
- ・外国語・外国語活動を中心とした、国際社会への視野を広げる教育活動の推進
- ・総合的な学習の時間・生活科を中心とした、教科横断的で組織的・計画的な地域を生かした教育活動の充実

イ 「すなおでやさしい子ども」を育成するために

- ・挨拶を通した、互いに認め合い尊重し合う関係の構築
- ・ともに作り上げる「関前スタンダード」を活用した、児童一人一人の規範意識の醸成
- ・多様な他者とのかかわりを通して多様な価値観を認め合う道徳教育の充実と人権尊重教育の推進
- ・児童が当事者意識をもち、意見を述べ、学校づくりにかかわっていく社会参画意識の育成
- ・よりよい地域づくりに参加する意識醸成
- ・異学年交流を通した人間関係と他を思いやる心情の育成
- ・家庭・地域と連携し、情報共有した上での好ましい人間関係の育成
- ・個を大切に生活指導の推進

ウ 「元気な子ども」を育成するために

- ・日常的な運動の場と多様な取組の充実
- ・生涯を健康で安全に過ごすための、自らの心身を大切にする素地の醸成
- ・食育および健康教育の充実

3 特色ある教育活動 ◎は特に重点を置く事項

◎生活科や総合的な学習の時間を中心に、教科等横断的に人生や社会を豊かにするために必要な「自立」「協働」「社会参画」の視点を推進する。具体的には武蔵野市全体を題材として生かし、スターとカリキュラムや市民性を育む教育活動、「武蔵野市民科」を、地域コーディネーター・近隣園・中学校等と連携し、就学前から中学校までの系統性を意識した活動を、地域人材・地域の特性を生かして推進していく。

◎武蔵野市学習者用コンピュータ活用指針を基に学習者用コンピュータの活用による、見つけた情報を活用しながら、他者と協働、プログラミング・論理的思考力の育成および、デジタル・シティズンシップ教育を、全体計画・年間計画を基に月2回朝の時間に「情報の時間」として実施するとともに、家庭と連携し全教育活動を通して推進していく。

◎「第2次武蔵野市子ども読書活動推進計画」に基づき、「読書」「学習」「情報」センターとしての学校図書館の活用や、「読書動機づけ指導」や朝読書、保護者読み聞かせや委員会活動、ビブリオバトルやブックトークを通した多様な読書活動の推進を、学校司書と連携し推進していく。

- ・増築校舎工事が終わり、地域とともに土俵を生かして行う「関前場所」の実施を通して、伝統文化に触れる経験や、互いに競い合うことの大切さ、きまりを尊重する礼儀正しい態度、勝敗にこだわらず相手を思いやる心の育成を図り、次年度へ継続していく。
- ・「開かれた学校づくり協議会」におけるテーマを定めた熟議を通して、教育活動への理解と目標の共有を図るとともに、次年度の学校運営協議会機能をもたせた「開かれた学校づくり協議会」への円滑な移行を進めていく。

桜野小学校



校長 藤橋 義之 副校長 山口 武志

所在地 桜堤 1-8-19
TEL 0422 (53) 5125
0422 (53) 5651 (こぶし教室)
0422 (54) 8655 (こだま学級)
FAX 0422 (55) 5071
H P <https://sakurano-e.musashino-city.ed.jp/>

主な沿革

- 平成 8 年 武蔵野市立桜野小学校開校 開校式典挙行、校歌と校章を制定する
14 年 体育館・通級学級棟完成
15 年 ビオトープ完成
18 年 開校 10 周年記念式典挙行
22 年 北校舎増築工事完了 自校式給食開始
24 年 武蔵野市教育課題研究開発校（2 年次）研究発表会開催
26 年 西校舎増築工事完了
27 年 武蔵野市教育研究奨励校（3 年次）研究発表会開催
28 年 開校 20 周年記念式典挙行
29 年 特別支援教室「こぶし教室」開設
30 年 個別支援教室「さくらのステップルーム」開設
令和 2 年 特別支援教室拠点校増設に伴いこぶし教室の巡回校が桜野小、第二小、境南小となる
3 年 武蔵野市教育課題研究開発校（3 年次）研究発表開催
4 年 東京都教育委員会表彰「健康づくり功労（学校給食分野）」優秀学校受賞
「フリールーム」設置
5 年 「スタートカリキュラムルーム」設置
本校舎給排水管改修工事完了

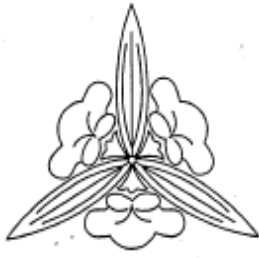
教育目標

- ◎ 思いやりのある子ども
- 自分の考えをもつ子ども
- 明るく元気な子ども

特色ある教育活動

- ・ 第1学年の授業時数外で年間6時間、第2学年の授業時数外で年間9時間、ALTを活用した英語遊びの時間を設定し、小学校6年間を通しての英語教育の充実を図る。
- ・ 学級での音楽活動や全校での音楽朝会、専門家を招いた鑑賞教室、4年生以上で構成される吹奏楽クラブの活動を通して、音楽を愛好する心や仲間と共同でやり抜く態度を育てる。
- ・ 多様なスポーツ選手との交流や競技体験を通じて、誰とでもスポーツや運動に親しむことができる知識技能の習得や態度を育てる。
- ・ 小1ギャップの解消に向け、就学前園児や教職員交流、施設見学等の幼保子小連携事業を立ち上げ、円滑な小学校生活がスタートできるようにする。また、第1学年の4月から45時間程度、教科と関連させた「桜野小スタートカリキュラム」を実施する。
- ・ 保護者との連携・理解のもとに個別支援教室「さくらのステップルーム」を通して、算数の四則計算に特化した個別の学習状況に応じた指導を行う。
- ・ 外国語活動及び外国語、音楽科、家庭科、図画工作科、国語科の一部において、専科教員や市講師を配置し、専門的かつ一貫性のある指導を行う。
- ・ 全校での朝読書、図書指導専門の市講師の配置や桜野ボランティアによる読み聞かせ、第3学年での読書動機付け指導、学校司書による読書指導の機会や時間を充実させ、言語能力を高めるとともに豊かな情操を育む。また、児童の読書状況を分析し、学校図書館の蔵書や授業支援の充実を図る。
- ・ 特別支援校内委員会や教育相談部会が中心となって、2名のスクールカウンセラーと市派遣相談員、家庭と子どもの支援員、SSW、TA、SSの計画的な活用を行い、一人一人の教育的ニーズに応じた支援体制の充実を図る。
- ・ 自校給食の利点を生かし、栄養士や調理員と連携した「さくらのクッキング」、栄養指導や食農指導、委員会活動を中心にした食育の充実を図り、望ましい食習慣の定着や食文化への理解を深める。
- ・ 地域コーディネーターを中心とした地域の教育資源（商店や福祉・大学・各協議会等の施設や人材）の学習活動への活用によって、体験活動や実技指導の専門性を高める。
- ・ 各種便りをホームページに掲載し、広く学校の方針や教育活動を広報する。また、学区内のコミュニティセンターや商業施設・近隣施設に学習の成果物の展示などを依頼し、情報発信の機能の充実を図る。
- ・ 開かれた学校づくり協議会を通じて保護者のニーズや地域関係者の意見を集約し、随時、学校運営の改善を図る。また、校内研究授業・協議会への委員の参加を要請し開かれた教育課程の実施を推進する。

第一中学校



校長 中嶋 建一郎 副校長 田中 淳一

所在地 中町 3-9-5

TEL 0422 (51) 8041

0422 (51) 1136 (エコールーム)

FAX 0422 (55) 5186

H P <https://dail-jh.musashino-city.ed.jp/>

主な沿革

- 昭和 22 年 町立武蔵野第一中学校設立
市政施行により武蔵野市立第一中学校と校名変更
- 28 年 校歌制定
- 38 年 新校舎落成
- 57 年 体育館・特別教室・プール落成
- 59 年 難聴学級(エコールーム)開設、視聴覚教育全国大会開催
- 63 年 新音楽室(音楽ホール)落成
- 平成 2 年 武蔵野市研究奨励校(学年・学級経営)研究発表
- 5 年 コンピュータ室完成
- 6 年 文部省「教育課程実施調査協力」指定校(2年間)
- 9 年 創立 50 周年記念式典挙行
- 11 年～ 文部省「スクールカウンセラー活用調査研究」委託校、放送機器改修
- 17 年～ 東棟内装改修工事(順次 3 年間)、東棟・西棟 WC 改修工事、
東門改修工事完了(順次 2 年間)
- 19 年 創立 60 周年記念式典挙行
- 21 年 学校給食開始、東・西棟耐震補強工事完了
- 22 年 市教育研究奨励校(道徳)研究発表
- 23 年 空調設備設置工事完了
- 25 年 雨水貯留浸透施設設置工事完了
太陽光発電設備設置工事完了、グラウンド整備工事完了
- 26 年 都言語能力向上拠点校(2年間)、非常災害用トイレ設置工事完了、
ガラス飛散防止フィルム貼替工事完了
- 27 年 研究発表会「思考力・判断力・表現力の育成」～言語活動の充実を通して～
- 28 年 電子黒板機能付プロジェクター設置
- 29 年 開校 70 周年記念式典挙行
- 31 年 体育館空調機設置
- 令和 2 年 新型コロナウイルス感染拡大予防のため臨時休業(3/3～3/25、4/8～5/31)
- 3 年 東京都人権尊重教育推進校として研究発表会「豊かな人権感覚をもつ生徒の育成」
～自尊感情を高める教育活動の工夫～
- 4 年 校舎改築工事開始
- 5 年 武蔵野市学校・家庭・地域の協働体制づくりモデル校指定

教育目標

- 正しく判断し進んで実行できる人間になろう
- 思いやりのある心豊かな人間になろう
- 心身ともに健康で明朗な人間になろう

特色ある教育活動

- ① 地域との連携による一中フェスタ（青少協・地域・保護者の協力による体験活動）の開催、各種地域まつり、関係小学校の運動会、青少協の行事、地域防災訓練への運営参加などの取組を通じて、学校・家庭・地域の連携を一層強化し、健全育成を図るとともに生徒の市民性を育む。
- ② 年間を通して、全校体制で朝読書に取り組むことや放課後の図書館開放を学校司書と連携して取り組むことにより、恒常的な読書習慣の形成を図り、豊かな心や情操を育み、自ら学ぶ意欲や知的好奇心、表現力の伸長を図る。そのために、本を身近に感じられる環境を整えていく。
- ③ 「地域の教育力」の活用、生徒会のハートカード（地域高齢者へのお便り作成）活動、人権理解学習、ユニセフ募金活動を通して、社会奉仕の精神や人権教育を充実させ、地域との連携を一層深めるとともに、生徒の多様性を育む。
- ④ 体育祭では、全校体制で学年種目、全員リレー等に取り組み、互いに協力することで、運動に対する肯定的な意識を高め、主体的に運動に取り組む姿勢を育む。応援等の縦割り活動を取り入れ、上級生と下級生が協働する場面を設定し、学年を越えた交流を図り自尊感情を高める。
- ⑤ 第一中学校ブロックの小・中学校合同研修会を通して、生活指導や学習指導に対する情報交換等を行うとともに、小学生を対象とした学校公開の実施方法について小学校との連携を図ることにより、連続性のあるきめ細かな指導を充実させる。
- ⑥ 体育祭では、全校体制で集団演技や学年種目、全員リレー等に取り組み、互いに協力することで、運動に対する肯定的な意識を高め、主体的に運動に取り組む姿勢を育むとともに、市内連合陸上競技大会や部活動などの様々な機会を通して体力の向上を図る。
- ⑦ 救命救急講習、防災訓練を命の大切さを学ぶ学習と捉え、自他の生命を尊重する心を育てる。また、それらの取組や地域行事等への参加を通し、地域や保護者との一層の連携・協働に努め、市民性の育成を図り、地域社会・行政と連携しながら実践的な地域防災教育を推進する。。
- ⑧ 武蔵野市の学校・家庭・地域の協働体制づくりのモデル校として、開かれた学校づくり協議会の機能を一層充実させ、熟議を繰り返す中で、学校と家庭・地域が連携・協働しながら生徒の学び・育ちを支える仕組みの構築・実践に取り組む。

第二中学校



校長 佐藤 敏数 副校長 岡田 正

所在地 桜堤 1-7-31
TEL 0422 (52) 2148
0422 (54) 9103 (こぶし教室)
FAX 0422 (55) 5194
HP <https://dai2-jh.musashino-city.ed.jp/>

主な沿革

- 昭和 24 年 市立第二中学校の開校、校歌制定
28 年 5 月 10 日を開校記念日と定める
43 年 新鉄筋校舎完成（現在に至る）
54 年 情緒障害学級（こぶし学級）開設
60 年 重層式体育館完成
平成 3 年 東京都学校保健優良校として表彰
5 年 コンピュータ室等増築工事完了
4～6 年 都ボランティア活動普及事業協力校
11 年 武蔵野市教育研究校（平成 13 年度まで）
14 年 校舎東棟内装工事着手、教育目標の改訂
16 年 ティーチングアシスタント事業実践校 校舎東棟内装工事完了
19 年 屋上防水等改修工事、受水槽更新工事、派遣相談員配置
20 年 校舎東棟・校舎西棟耐震補強工事、校舎西棟天井改修完了、学校給食開始
22 年 校舎東棟トイレ改修工事
23 年 こぶし学級二中校舎内に移転、屋上太陽光発電システム稼働開始
27 年 武蔵野市タブレット導入校
29～30 年 武蔵野市小中連携教育研究校～小・中学校教員の相互乗り入れ授業実施
30 年 東京都道徳教育推進拠点校
令和 元年 開校 70 周年記念式典挙行
2 年 特別支援教室（こぶし教室）開設・拠点校
3 年 武蔵野市教育委員会教育課題研究開発校（武蔵野市民科）
学習者用コンピュータ貸与開始
4 年 武蔵野市教育委員会教育課題研究開発校（武蔵野市民科）研究発表

教育目標

○進んで学習する人 ○心身ともに健康な人 ○夢の実現を目指す人

特色ある教育活動

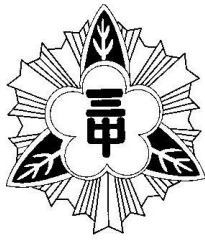
- ① 生徒の学習習慣、学習規律を確立する一つの方策として、現在各学年が始業時の時間を有効活用して取り組んでいる朝読書を継続し、知的好奇心や創造力を育み、穏やかに一日のスタートを切る時間とする。
- ② 放課後や長期休業中の学習支援教室を継続し、個に応じた指導を充実させ、基礎学力の確実な定着を目指す。
- ③ 「武蔵野市民科」の学習計画に基づき、自己発信力の向上を図りながら、合理的な解決策、納得解・最適解を見出す力の育成を推進する。また、全学年を通して SDGs への取組をさらに充実させると同時に、第 1 学年でのセカンドスクール、第 2 学年での職場体験、第 3 学年での修学旅行の学習については、事前や事後の学習活動との関連性を明確にして年間指導計画へ適切に位置

づける。

- ④ 数学、英語以外のすべての教科においても生徒一人一人の個に応じたきめ細かい指導を行うために、学習指導補助員による支援の活用、年間を通した学習相談、補充教室の実施など、基礎・基本を確実に習得する機会を設ける。
- ⑤ 学校司書と連携した読書活動等の推進、図書館の利用拡大を図るとともに、学校図書館の蔵書を計画的に点検し、生徒が自ら学ぶ場として学校図書館の読書環境と機能を活性化させ、教育活動の充実を図る。また、読書感想文コンクールなどに積極的に取り組ませる。
- ⑥ 読書の楽しさや喜びを味わい、言語活動の基盤としての読書活動を充実させるため、教員を含めた全校一斉の朝読書の時間として、6月第2週と1月第4週の1週間を読書週間として位置付ける。期間中は朝読書の時間をさらに充実させるため、学校図書館担当教諭を中心に国語科や図書委員会・学校司書と連携し、生徒が本を読もうとする気持ちをさらに高める取組を行う。
- ⑦ 生徒の興味・関心・個性・特性を伸長する機会として部活動を開設する。異年齢集団で切磋琢磨し、協調性や達成感、多様性を認め合う活動の質の向上を図る。
- ⑧ 食育指導の一環として給食指導の充実を図ると同時に、食への正しい理解を深め、食を選択する力を習得し、望ましい食習慣を身に付けさせる。また、食物アレルギーの生徒への対応を全教職員で共通理解し、保護者と連携した安全な食の提供に努める。
- ⑨ 避難訓練・防災訓練は想定に様々な工夫を凝らし、生徒の危機回避能力の獲得を図る。また、教職員と生徒が地域と連携して防災力を高めるために、消防署や市防災課等とともに、地域防災訓練等を通して自助・共助・公助を学ぶことで市民性を高める
- ⑩ 職場体験学習サポート登録企業一覧の活用や地域の大学・企業などの知的環境及び市民文化団体などの文化的環境を生かし、職場体験学習や地域の行事への参加を通して、自分たちが生活する地域についてより深く知り、一市民としての意識を高め、地域に貢献しようとする態度を育成する。
- ⑪ 異校種（小学校、高校、大学）との連携や、地域の人材や資源の活用を図る。特に、地域の小学校とは生徒会を中心とした小学校訪問による小中の交流や、授業・外国語活動・部活動などを活用した双方向の活動を進めるとともに、教育課程の連続性に重点を置いた相互交流を深め、連携を計画的に推進する。また、生活指導等の共通理解の促進を図る。
- ⑫ 学校教育の質的向上を図るため、教職員が誇りとやりがいを持てる学校経営を目指し、ICTを活用した校務の軽減と組織的な業務の見直しを進める。

特別支援教育

- ① 中学校特別支援教室「こぶし教室」と教科担任、学級担任とが緊密に連携し、個に応じた適切な指導ときめ細かな自立支援を行い、心身の調和的発達の基盤を培い、学ぶ意欲の向上を目指す。
- ② 個別の指導計画や学校生活支援シート（個別の教育支援計画）に基づく適切な指導を行い、情緒の安定と対人関係の形成の基礎を養う。また、特別支援教育コーディネーターを中心とした校内委員会を週1回開催して必要な支援の検討を行い、保護者と連携して生きる力を育てる自立活動を積み上げながら、「こぶし教室」退級を目指していく。
- ③ インクルーシブ教育の理念を踏まえて、「障害を理由とする差別の解消に関する法律」（障害者差別解消法）に基づく合理的な配慮を行う。そのために、特別支援教室の教員の専門性を生かした双方向交流や協働を一層推進し、組織的な支援体制の確立を図り、一人一人の教育的ニーズに応えていく。



第三中学校

校長 竹山 正弘 副校長 松永 恵美子

所在地 吉祥寺東町 1-23-8

T E L 0422 (22) 1426

F A X 0422 (21) 7694

H P <https://dai3-jh.musashino-city.ed.jp/>

主な沿革

- 昭和 26 年 市立第三中学校の創設
28 年 校歌・校旗制定、理科教育研究発表
34 年 体育館完成
36 年 文部省実験校、国語科研究発表
47 年 都教委教育課程実験校 研究発表
54 年 文部省機器利用英語 教育研究発表
55 年 文部省帰国子女教育研究協力校
63 年 ランニングコース完成
平成 4 年 文部省機器利用英語教育研究指定校として研究発表
8 年 東京都教育委員会学校週 5 日制実施研究校として研究発表
13 年 開校 50 周年記念式典
15 年 都教育委員会少人数学習集団による指導法の研究推進校及び市教育委員会教育研究校として研究発表
19 年 武蔵野市・東京都授業力向上研究指定校として研究発表
20 年 校庭一部芝生化
21 年 雨水貯留浸透施設工事、校庭改修
23 年 開校 60 周年記念式典
25 年 理数フロンティア校指定校
26 年 オリンピック教育推進校
27 年 屋上太陽光発電設備設置
武蔵野市タブレット P C 活用モデル校
28 年 電子黒板機能付プロジェクター設置
29 年 武蔵野市教育研究奨励校として研究発表
令和 2 年 こぶし教室（特別支援教室）設置
3 年 武蔵野市学校図書館活用モデル校
開校 70 周年記念式典
令和 5 年 武蔵野市教育委員会教育課題研究開発校「主体的に学習に取り組む態度の育成～指導と評価の一体化に向けた授業改善」（令和 6 年度まで）
令和 6 年 武蔵野市教育課題研究開発校として研究発表

教育目標

個性豊かな文化の創造と民主的な社会の発展に努め、進んで平和的な国際社会に貢献できる、人間性豊かな社会人を育成することを目標として、次の標語をかかげる。この一つ一つを目標とするだけでなく、それらが一体となり、相関連し、相補うものとする。

知性豊かな人になろう 情味のある人になろう 品のよい人になろう
健康な人になろう 骨身を惜しまず働く人になろう

学校の教育目標を達成するための基本方針

ア 「知性豊かな人」を育成するために

各教科において基礎的・基本的な知識・技能の習得を図るとともに、言語活動を充実させた授業を推進し主体的・対話的で深い学びを実践させることにより、思考力・判断力・表現力等を育成する。

イ 「情味ある人」「品のよい人」を育成するために

人権尊重の精神を基盤とし、教育活動全般を通して、一人一人がかけがえのない人間として互いを信頼し、尊重し合いえる人間関係を構築させ、豊かな心や感性を育成する。

ウ 「健康な人」を育成するために

健全な心身の育成のため、健康にかかわる教育活動等を通して、望ましい生活習慣の確立や体力の向上と心の健康の維持増進に努める態度を育成する。

エ 「骨身を惜しまず働く人」を育成するために

文化・芸術活動やボランティア活動、自治活動を中心に生徒会活動を通して、生徒の自主性や協調性を育み、多様な社会に貢献できる生徒を育成する。

特色ある教育活動

- ・本校の教育理念である「責任ある自由」のもと、生徒の自主・自律を生かした教育活動を展開し、充実・発展させる。
- ・危険を予測し回避する能力や他者を守る能力などを身に付けるために、薬物乱用防止教育（セーフティ教室等）、交通安全教育（交通安全教室等）、防災教育（地域と連携した防災訓練等）を推進する。
- ・図書館担当教員を中心に、学校司書と連携し、ビブリオバトルなどによる言語活動の向上を図り、読書活動・情報センター機能を充実させる。
- ・学区小学校と合同研修会（研究発表会等への参加、学習指導、生活指導、進路指導、特別支援教育等）の実施、小・中学校9年間を見通した効果的な教育活動の充実を図る。また、スムーズな中学校生活につながるよう、小学校6年生を対象とした新入生交流会を実施する。
- ・地域人材を活用して、学力向上を目指した「土曜日・定期考査前の学習支援教室」や「夏休み学習教室」及び各種検定（英検・漢検）試験への取組などを実施する。
- ・「ボランティア活動（高齢者の方との関わり、花の球根や苗のプラントづくり）」を中心とした生徒会活動、青少年問題協議会三中ブロックや地域の関係諸機関との連携を通して、地域や社会への理解を深め貢献しようとする意欲を育み、市民性を高める教育を推進する。
- ・武蔵野市給食・食育振興財団と連携して、教員と栄養士・調理員による合同調理実習等を通して、望ましい食習慣を身に付けさせ、健康な生活を送ることができる能力の育成に努める。
- ・朝読書期間を設定し、読書の習慣を定着させることを通して、豊かな感性や情緒を育み、知的好奇心や創造力、表現力を育成する。
- ・生徒の主体的な活動を支援し、部活動など自主的な活動で力を発揮できる場を設定する。

第四中学校



校長 喜連 寛武 副校長 酒井 義博

所在地 吉祥寺北町 5-11-41

TEL 0422 (51) 7675・7676

0422 (51) 7677 (群咲学級)

FAX 0422 (55) 5195

H P <https://dai4-jh.musashino-city.ed.jp/>

主な沿革

- | | | |
|----|------|----------------------------------|
| 昭和 | 28 年 | 入学式、一中より 2 年生 133 名、新 1 年生 122 名 |
| | 28 年 | 第一期改修工事落成 (元中島飛行機青年学校) |
| | 28 年 | 徽章バッヂを制定 (けやきの葉図案) |
| | 28 年 | 開校式 (この日を開校記念日と定める) |
| | 30 年 | 第一回卒業式 卒業生 144 名 |
| | 31 年 | 群咲学級開設 2 学級 (木造校舎) |
| | 33 年 | 校歌制定 (作詩 川崎庸三、作曲 国枝重寿) |
| | 35 年 | 体育館竣工 |
| | 38 年 | 十周年記念式典 |
| | 40 年 | 群咲学級新校舎落成 |
| | 42 年 | プール施工工事完了 |
| | 43 年 | 十五周年記念式典、記念事業 (岩石園造園) |
| | 44 年 | 市研究指定校として学級活動研究発表 |
| | 48 年 | 二十周年記念式典、記念事業 (花壇整備) |
| | 50 年 | 校舎落成記念式典 |
| | 52 年 | 群咲学級、市研究協力校として教育課程の学習展開について研究発表 |
| | 54 年 | いぶき学級校舎竣工 |
| | 58 年 | 三十周年記念式典 |
| | 58 年 | いぶき学級開級十周年記念行事 |
| | 61 年 | 学校保健統計調査優秀校として文部大臣賞を受賞 |
| | 61 年 | 市視聴覚教育研究奨励校公開授業、研究発表 |
| 平成 | 元年 | 東京都帰国子女教育推進校 公開授業、研究発表 |
| | 3 年 | いぶき学級校舎竣工、新校舎移転 |
| | 3 年 | 群咲、いぶき学級校舎落成記念式典 |
| | 4 年 | 体育館・温水プール等改築竣工記念式典 |
| | 5 年 | 四十周年記念式典 |
| | 6 年 | 東京都体力づくり研究協力校、公開授業、研究発表 |
| | 11 年 | 文部省スクールカウンセラー活用調査研究発表 |
| | 15 年 | 五十周年記念式典 |
| | 21 年 | 教育課題研究開発校、公開授業・研究発表 (特別支援教育) |
| | 23 年 | 空調設備工事完了 |
| | 24 年 | 校舎棟エレベータ工事完了 |
| | 25 年 | 六十周年記念式典 |
| | 28 年 | 屋上ソーラーパネル工事完了 |
| | 29 年 | 東京都スーパーアクティブスクール指定 |
| 令和 | 5 年 | 七十周年記念式典 |

目指す学校

1. 教育目標

人権尊重の精神に基づき、心身共に健康で、人間性豊かな生徒の育成を目指す。また、生涯を通じて主体的に学ぶことのできる基礎を培う教育の視点に立って、次の通り本校の教育目標を設定する。

○ 進んで学習しよう ○ 力をあわせて働こう ○ 励ましあって身体を鍛えよう

2. 目指す学校像

- ① 生徒にとって 「安心で、明日も登校したくなる学校」
- ② 保護者にとって 「教職員・職員が信頼できる学校」
- ③ 地域から 「協力を得られる学校」
- ④ 教職員は 「はじめに一社会人であり、教職員である自覚」

そのためには、生徒を第一に考え、

- ア 生徒の模範となり、一人一人に教育的愛情を注ぐ
- イ 保護者、地域との連携を深める
- ウ 学習指導力、生徒指導力、進路指導力、外部折衝力、組織対応力を高める

3. 目指す生徒像 本校の教育目標を目指す生徒像の主たる姿とする。

具体的には、

- ① 自ら考え、進んで行動する生徒
- ② 進んで挨拶のできる生徒
- ③ 人権を尊重する生徒
- ④ 公共に尽くせる生徒
- ⑤ コミュニケーションを大切に、仲間を大切にする生徒
- ⑥ 身体を鍛え、体力の向上、健康の増進を図る生徒

4. 中期的目標と目標達成のための方策

- ① 自ら進んで学習に取り組む習慣を定着させる。
全教職員が常に授業を見直し、改善を図り、授業力の向上を図る。各研修会や教師道場、都研究員、都研究開発委員等で学んだ指導方法を伝達し、拡充していく。
- ② 豊の心の育成
一人一人の人権を尊重し、自分の大切さ、他の人の大切さを認める教育活動を実践する。
- ③ 体力の向上・健康教育
運動に親しむ習慣を育て、運動する楽しさや健康に関する知識を身に付け、健康な生活を実践できる力を育成する。健康の増進に関する知識を高め、自己の心身を大切にする心を育てる。
- ④ 信頼される学校、地域との連携
学校情報の適切かつ定期的な発信と、地域に開かれた学校づくりを推進する。毎日が学校公開日である。教育活動を常に発信していく。
- ⑤ 特別活動・部活動
インクルーシブ教育システムの考えを元にした生活指導を行う。令和の時代に応じた、部活動を実践していく。
- ⑥ 特色ある学校づくり
体育祭、四中祭、セカンドスクール、合唱コンクール等の伝統ある行事の充実を図る。温水プールを活用し、体力向上を図る。学校図書館の利用を充実し、読書をする習慣の定着を図る。共生社会の理念に基づき、特別支援学級との交流活動を充実させる。
- ⑦ 働き方改革
学校行事の見直し、会議の精選、業務の見直し、ペーパーレス化に努める。部活動の地域移行に則り、部活動指導員や地域の指導者による運営を目指す。

第五中学校



校長 久山 洋介 副校長 二日市 克

所在地 関前 2-10-20

TEL 0422 (52) 0421

FAX 0422 (55) 5258

H P <https://dai5-jh.musashino-city.ed.jp/>

主な沿革

- 昭和 36 年 武蔵野市関前 960 番地に設立認可、校章制定（原案作成 2 年中村常夫）
38 年 校歌制定
51 年 6 月 1 日を開年記念日に指定
平成 8 年 第 1 回セカンドスクール実施（志賀高原）
14 年 少人数学習指導開始（国・数・英）
17 年 テキサス州ラボック市よりジュニア大使訪問
18 年 教育課題研究開発校「中学校における部活動の役割と課題」として研究発表
21 年 武蔵野市教育研究奨励校「授業改善と教育課程の工夫」として研究発表
23 年 南北棟教室空調工事完了、開校 50 周年記念式典挙行
24 年 太陽光発電工事完了、屋上防水工事完了
27 年 東京都人権尊重教育推進校、武蔵野市教育研究奨励校として研究発表
28 年 テキサス州ラボック市よりジュニア大使訪問
29 年 東京都道徳教育推進拠点校
31 年 体育館空調設備工事完了
令和 元年 部活動指導員導入モデル校
2 年 特別支援学級「こぶし学級」設置
4 年 校舎改築に伴い、仮設校舎に移転
5 年 テキサス州ラボック市よりジュニア大使訪問
6 年 東京都教育委員会授業改善推進拠点校、武蔵野市教育研究奨励校

教育目標

生徒の「自らの人生を切り拓き、多様な他者と協働してよりよい未来の創り手となる力」を育むことを目指して、次の目標を設定する。

- ＜1＞ 自ら考え、進んで行おう
- ＜2＞ あたたく、広い心を持とう
- ＜3＞ 互いに鍛え、高め合おう

主体的対話的で深い学びの実現と自信を高める教育活動を目指し、「自ら考え、進んで行おう」を重点目標とし教育活動を推進する。

特色ある教育活動

「人間力を高めよう～みんなが輝く武蔵野五中」

- ・ 人も自分も大切にすること
- ・ 元気よくあいさつをする
- ・ 何事にも一生懸命取り組む

(1) 言語に関する能力の向上を図る指導の充実

◎朝の10分間の読書活動を励行し、進んで読書に親しむ態度を育て、読書の量と質の向上を図る。

- ・学校図書館館長（校長）を中心として、図書委員会を活用した生徒の読書週間の確立や読書環境を整備する。（作品紹介カードや本の工夫した展示）
- ・放課後に学校図書館を開放し、生徒が自ら学ぶ学習・情報センターとしての機能を活性化させるとともに、市立図書館等と連携を図り、学校図書館を活用した教育活動の充実を図る。
- ・市民性を育成する教育「武蔵野市民科」の学びと関連させた、話すこと「発表」と話すこと「やり取り」に取り組むポスターセッションを全学年で行う。
- ・漢字、数学、英語の検定試験を奨励し、基礎学力の向上と上の学年の学習内容の習得を図る。

(2) 小学校との連携協力

◎学区の小学校の第六学年児童に向けた体験授業、部活動紹介を生徒会が中心となって実施することで、自他を尊重し、協働して生活しようとする態度を育成する。

- ・学区の小学校との合同研修会を実施し、共通の課題に対する意見交換等を行い小中学校間の連携した取組の充実を図る。

(3) 学校・家庭・地域による協働

◎開かれた学校づくり協議会を各学期1回開催し、学校の教育目標や育成を目指す資質・能力の共有及び、実現に向けた熟議を進める。

- ・「社会に開かれた教育課程」の実践として、学校・家庭・地域の交流を深め、保護者アンケートや学校関係者評価を実施し、その結果を踏まえた学校経営の改善を進める。
- ・学校・学年だよりや学校ホームページ、学校公開などを通して、学校の教育方針や特色ある教育活動、生徒の状況について情報発信に努める。
- ・五中学区の地域コーディネーターと連携した職場体験の実施、地域の人材を活用した学習支援教室、地域ボランティアによる生徒の生活支援など、地域の教育力を学校教育に積極的に取り入れる。
- ・家庭や地域と連携した地域美化活動や地域防災訓練を実施するとともに、生徒に地域行事やボランティア活動への参加を推奨することで、奉仕の心や市民性を育成する。

(4) 教育相談の充実

◎一人ひとりの生徒に対して必要な教育相談の環境を提供できるように、市派遣相談員やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等と協働し、教育相談機能を充実させる。

- ・子どもの居場所確保や不登校生徒等に対し組織的な支援をするために、教育支援センター、チャレンジルーム、むさしのクレスコーレ、家庭と子どもの支援員等の関係諸機関との綿密な情報の共有を図る。
- ・「学校いじめ防止基本方針」に基づき、いじめ防止対策委員会を中心に組織的に対応を進める。
- ・教育相談機能を充実させるために、生活振り返りシートの活用やスクールカウンセラー及び市派遣相談員による個人面談を実施し、いじめや不登校等の早期発見、早期解決につなげる。

(5) オリンピック・パラリンピック教育の充実

- ・「学校2020レガシー」として、異文化交流やパラスポーツ体験等を通して、国際親善や平和に果たす役割を正しく理解し、進んで平和な社会の実現に貢献する意欲や態度を育成する。
- ・セカンドスクールでオリンピック長野冬季大会のレガシーにふれ、同大会の環境対策から環境保全活動についての理解を深める。

(6) 教職員の働き方改革による学校教育の質的向上

◎校務支援システムをはじめとしたICT化による業務改善を進めるとともに、学習者用コンピュータを効果的に活用した授業を推進することで、学校教育全体の質的向上を図る。

- ・各種研修会や都認定団体、民間団体の研究発表会への参加の環境を整え、教員の主体的な研修の機会を確保することで学習指導力の向上を図り、授業改善へとつなげる。

第六中学校



校長 鈴木 斉 副校長 田代 裕司

所在地 境3-20-10

TEL 0422 (53) 6311

0422 (32) 6140 (いとすぎ学級)

FAX 0422 (55) 5212

H P <https://dai6-jh.musashino-city.ed.jp/>

【主な沿革】

- 昭和 46 年 市立第六中学校開校（市立第二中学校、桜堤小学校舎を借用して発足）校章制定
48 年 校歌制定
49 年 病虚弱学級（いとすぎ学級）開設
52 年 庭球（硬式）コート完成
56 年 増築校舎完成
59 年 学校視聴覚教育全国大会会場
平成 5 年 コンピュータ室開設
6 年 市教育研究奨励校（コンピュータ）研究発表、体育館改修工事完了
7～9 年 市教育研究指定校、研究発表（パソコン通信）
11～14 年 文部省・郵政省マルチメディア活用研究校
18 年 東京都情報モラル教育実践モデル校研究発表
21 年 西校舎棟耐震補強工事完了
23 年 開校 40 周年記念式典、太陽光発電設備工事完了
24 年 文部科学省美術科研修指定校、都中学校体育連盟研究奨励校（武道：相撲）
25 年 都中学校体育連盟研究奨励校研究発表（武道：相撲）・無線 LAN パソコン導入
26 年 テキサス州ラボック市よりジュニア大使訪問、いとすぎ学級 40 周年記念式典
28 年 雨水貯留浸透施設設置及びグラウンド整備工事完了
29 年 非常災害用トイレ設置工事完了
30 年 西校舎棟外壁改修 1 期工事
令和 元年 西校舎棟北側サッシ等改修工事、特別支援教室設置工事
2 年 東校舎棟トイレ改修工事完了
3 年 開校 50 周年記念式典、プール槽等改修工事完了

【教育目標】

1. 学校の教育目標

わたくしたちは創造する

未来に生きる人づくりをめざし たがいに心を通わせ 真実を学び教える

武蔵野の自然を愛し 生命の尊さと働くことの喜びを知り 無限の可能性を追い求めていく

○力いっぱい自分の能力を伸ばそう

○みんなで考え実行しよう

○健康で心ゆたかな人になろう

2. 学校の教育目標を達成するための基本方針

○「力いっぱい自分の能力を伸ばす」生徒を育成するために

①全教育活動を通して、自分の良さや可能性を信じ、守られる権利を生徒自身が理解したうえで、目標や夢をもって力を発揮することで、自己肯定感や意欲を高める。

②学習指導要領の趣旨を踏まえ「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、言語活動を充実させ基礎的・基本的な学力の定着と学んだ内容の活用を通して、分かりやすく、生徒の興味・関心を高められる授業の工夫・改善を図り、生徒が生涯にわたって能動的に学び続けることがで

きる力を育む。

○「みんなで考え実行する」生徒を育成するために

- ①学校行事や生徒会活動等において、生徒同士の関わり合いを大切にしながら、生徒の自主的・主体的な活動を重視し、成就感や達成感を味わわせるとともに、体験活動を基盤にして各学年が創意・工夫を図り、夢や希望のある自己の生き方を考えられる生徒の育成を推進する。
- ②一人一人の生徒が役割をもち、義務と責任の関係を考えながら自己の考えを述べ、互いに違う意見を認め合いながら、学び高め合える活動を設定し自他を尊重する力を育む。

○「健康で心ゆたかな」生徒を育成するために

- ①「特別の教科 道徳」の授業や人権教育、教育活動全般を通して、一人一人が互いに尊重し合う中で、自己肯定感や自尊感情等を育むことによって自他を敬愛する態度の育成を図り、あらゆる偏見や差別をなくす教育活動を推進し、いじめは絶対に許さない姿勢や態度を培わせる。
- ②家庭と連携・協力した基本的生活習慣の向上を目指し、健康で規則正しい生活ができるよう、全教育活動を通して健全育成の推進を図るとともに、体育や健康・安全に関する教育活動を計画的に実践し、体力の向上と心身の健康の保持・増進を図る。

3. 特色ある教育活動

- ①年間を通して全校体制で朝読書に取り組ませることによって、気持ちを落ち着かせて授業に臨む習慣を身に付けさせるとともに、望ましい読書習慣の形成を図り、言語力の向上、特に「読む力」の向上を目指す。また、図書委員会主催のビブリオバトルを実施し、読書への興味関心を深め、生徒の豊かな感性や情緒を育み、表現力を育成する。
- ②武蔵野赤十字病院との連携による生命尊重の視点にたった教育(医師・看護師による授業)と、本校が併設する病弱学級(いとすぎ学級)との交流や情報交換を通して、自他の生命や個性を尊重する精神を育成する。
- ③生徒の特性や実態に応じ、保健体育科の授業と関連させ、学校全体の一校一取組の内容として陸上競技大会の事前の練習等を意図的・計画的に実施し体力の向上を目指す。
- ④家庭や地域社会との連携を強め、地域に貢献する意欲や態度を育てるような場や機会を積極的に提供し生徒の市民性を高める。そのために、学習教室、講演会、家庭科の授業における保育園等の訪問、協働的な学びの一つとして生徒会主催の地域清掃、花活動を実施し、地域の祭りやボランティア活動、文化祭、関係小学校の運動会ボランティア等への積極的な参加を促していく。また家庭や地域に学校情報を発信していく手だてとして学校ホームページを積極的に更新する。
- ⑤自然や文化に触れ、産業を学んだり、職業を体験したりする行事などを推進することにより、奉仕の心や社会性、責任感や望ましい勤労観とともに、豊かな心を育てる。そのために、セカンドスクールでの農業体験や職場訪問・職場体験、職業人の話を聞く会、卒業生の話を聞く会、生徒会主催によるボランティア活動等を実施する。
- ⑥地域や行政と連携しながら実践的な防災教育を実施し、非常災害時に地域の中で貴重な活力となるべく能力を身につけさせ、社会貢献・地域貢献できる資質を育成するとともに、地域の一員であることを自覚させ、将来を見据えた市民性の育成を図る。そのために総合防災訓練では避難所開設に向けて消防団や日赤等関係諸機関と連携した取り組みを推進していく。
- ⑦各教科との連携を図りながら学習指導補助員や地域の人材を活用し、平日の放課後や土曜日の学習支援教室及び、長期休業中等の補充教室を充実させる。
- ⑧学校2020レガシーとして、我が国の伝統・文化を身に付けさせ、日本人としての誇りを大切にする心を育てるための行事を積極的に推進する。そのために、百人一首大会、琴、書道教室、保健体育科による相撲の授業等を実施する。

2. 学校教育指導

2 - 1 教育研究活動

① 指導課主催 各種委員会・連絡会・運営委員会等一覧

(令和5年度)

名 称	構 成	内 容
1 担当者会		
教務主任会	- 各小中学校の教務主任 - 校長会・副校長会の代表	- 教育課程や教務事務等に関する研修を深め、各校の実践に生かす。 - 各校の教務に関する情報交換を行うとともに市教委との連絡機関とする。
生活指導主任会	- 各小中学校の生活指導主任 - 校長会・副校長会の代表	- 各校の生活指導上の情報交換や協議を行い、具体的な課題や事例に基づき相互の研修を深める。 - 市教委や関係諸機関との連携を図り、児童・生徒の健全育成に資する。
進路指導主任会	- 各中学校の進路指導主任 - 校長会の代表	- 成績一覧表調査に係る事務連絡等を中心に評価評定の研修を行う。 - 進路指導やキャリア教育について情報交換を行う。
道徳教育推進教師担当者会	- 各小中学校の道徳教育推進教師 - 校長会の代表	- 道徳教育に関する取組について情報交換を行い、各校での道徳教育推進を図る。 「特別の教科 道徳」における評価を踏まえた授業づくりの研究・研修を行う。
2 委員会		
人権教育推進委員会	- 各小中学校の推進委員 - 校長会の代表	- 人権教育の視点を踏まえた講演会やフィールドワーク等を行い、人権教育の理解を深める。 - 人権教育に係る施策の周知の場とする。
武蔵野市民科カリキュラム推進委員会	- 各小中学校の推進委員 - 校長会・副校長会の代表	小学校及び中学校において実施する武蔵野市民科のカリキュラムや実施方法等について検討する。
武蔵野市立学校部活動在り方検討委員会	- 小中学校の教員 - 校長会・副校長会の代表 - 文化生涯学習事業団 事務局長 - 体育協会 事務局長 - 生涯学習スポーツ課長 - スポーツ推進担当課長 - 指導課 指導課長他2名	- 部活動の意義等についての協議 - 地域移行・地域連携に係る武蔵野市の方向性についての協議 - 拠点校方式による合同部活動に係る検討

学習者用コンピュータ活用検討委員会	・学識経験者 ・校長会・副校長会の代表 ・小・中学校の教員	・学習者用コンピュータを適切かつ効果的に活用するため、児童及び生徒の発達段階を踏まえた指導内容、児童及び生徒が適切かつ効果的に活用することで身に付く力等について検討する。 ・「武蔵野市学習者用コンピュータ活用方針」を定めるために検討する。
武蔵野市長期宿泊体験活動検証委員会	・学識経験者 ・校長・副校長会の代表 ・小・中学校の教員	・令和3年3月に「武蔵野市長期宿泊体験活動検討委員会報告書」で示された今後の実施に向けた提案の進捗状況を確認し、その成果と課題について検証する。
3 連絡会		
学校図書館担当者・学校司書連絡会	・各小中学校の学校図書館司書 ・各小中学校の司書教諭等 ・校長会の代表 ・市立図書館の担当者	・児童・生徒の学校図書館利用の支援や、学校図書館を利用した授業の補助等を行う各校の学校司書と担当教員による協議や情報交換を行う。 ・市立図書館との連携を図る。
ICT活用推進リーダー連絡会	・各小中学校の教員	・学習者用コンピュータの活用方法や授業実践等について、情報交換を行う。
4 運営委員会・実行委員会		
移動教室運営委員会	・各小学校の委員 ・校長会の代表	・日光移動教室に関する協議、連絡調整を行う。
演劇鑑賞教室運営委員会	・各小学校の委員 ・校長会の代表	・本市の児童にふさわしい優れた演劇を鑑賞させ、文化的体験を深めさせるための運営を行う。

② 指導課主催 教職員等研修一覧

(令和5年度)

回数：半日を1回

研 修 会 名	概 要	回数	備 考
1 職層研修			
校長研修会	・本市が進める重点的な取組や教育課題への対応に関する研修を行う。	1	
副校長研修会		1	
新補・転補校長・副校長研修会	・本市に新しく着任した校長・副校長を対象に、本市が進める取組等に関する研修を行う。	1	
主幹教諭・主任教諭任用時研修	・国・都主催研究発表会等などに参加し、主幹教諭・主任教諭としての見識を高める。	1	
2 年次研修			
若手教員育成研修 (1年次) 〔初任者等研修〕	・校外における研修 11回、課題別研修 3日 ・校内における研修 (180時間以上)		法定研修
若手教員育成研修 (2年次)	・校外における研修 3回 ①集合研修 ②市夏季研修等への参加 ③都研究員・教師道場発表等への参加 ・校内における研修 (30時間以上)		

若手教員育成研修 (3年次)	・校外における研修 2回 ①集合研修 ②市夏季研修等への参加 ・校内における研修 (30 時間以上)		
中堅教諭等資質向上 研修Ⅰ	・校外における研修 (14～16 回) ・校内における研修 (教諭 90 回、主任教諭 54 回) ※研修の段階によって単位数が異なる。(半日を 1 回とする)		法定研修
中堅教諭等資質向上 研修Ⅱ	・校外における研修 (2 回)		法定研修
3 専門研修			
研究主任研修	①各小中学校の研究主任対象の市主催研修	1	
学校マネジメント講座	・学校運営の中核を担う教員、将来学校経営を担うことができる教員の学校マネジメント能力の向上を図る。	2	
食育リーダー研修	・食に関する指導の在り方や食育リーダーの役割についての研修し、校内体制づくりについて協議や情報交換等を行う。	1	
4 教育課題研修			
小学校 理科実技研修会	・武教研理科部と連携し、理科の実験に関わる実技研修を行い、指導力の向上を図る。	1	希望者研修
小学校 体育実技研修会	・武教研体育部と連携し、体育の実技研修を行い、指導力の向上を図る。	1	希望者研修
小学校 外国語等研修	・学級担任が展開する授業の基本とクラスルームイングリッシュ等の習得をする。	3	希望者研修
特別支援教育研修	・通常の学級における特別な支援が必要と思われる児童・生徒について、正しい理解に基づいた支援の在り方等を身に付ける。	1	希望者研修
通級指導学級・特別支援教室等専門性向上研修	・学校における特別支援教育の推進について	1	希望者研修
学習者用コンピュータ活用研修	・Classroom 等の活用法についての講義及び実習	1	希望者研修
5 五市合同夏季専門研修			
五市合同夏季専門研修	・ 5 講座 (夏季休業中) (不登校対応、キャリア教育、特別活動、生活指導、特別支援教育) - 武蔵野市、三鷹市、調布市、府中市、狛江市の合同開催		希望者研修
6 その他			
新補・外転入者対象研修	・武蔵野市の学校教育の特徴や個人情報の管理について理解を深める。	1	辞令伝達日に実施 (外転入者は、別途オンラインにて実施)

③ 指導課主催 教育アドバイザー訪問研修一覧

(令和5年度)

研修名	人数	概要	訪問回数
1 若手教員育成研修の実施支援			
訪問研修Ⅰ (1年目)	14	新規採用者研修・期限付任用教員任用時研修(年間3回) ○教師として身につけるべき基礎的・基本的事項の育成 ・学習指導力(授業計画・学習材活用・実践指導) ・生活指導(児童・生徒指導)力の育成	64回
訪問研修Ⅱ (2年目)	10	訪問研修Ⅰ修了者(年間3回) ○実践的な指導力の育成 ・学習指導力(授業計画・学習材活用・実践指導)の育成 ・生活指導・進路指導力の育成	20回
訪問研修Ⅲ (3年目)	15	訪問研修Ⅱ修了者(年間3回) ○課題解決力の伸長 ・実践的な指導力(学習指導力、生活指導力)の伸長 ・外部との連携・折衝力、学校運営力・組織貢献力の育成	27回
2 教員の育成研修の実施			
特別研修等	12	学校長の要請に応じた訪問研修 ○教員の授業指導、生活指導支援 教育委員会主催のセンター研修等の講師 ○研修会講師 ・初任者研修の講師 ・東京都センター研修等の講師	25回
臨時的任用 教員(産休育 休代替)の研 修		授業観察を基に、訪問研修計画の作成・実施 (随時、要請・状況に応じて訪問研修の実施) ○基礎的・基本的事項の確認と育成 ・学習指導力(授業計画・学習材活用・実践指導) ・生活指導(児童・生徒指導)力の育成	

④ 教育支援課主催 各種委員会・連絡会・運営委員会等一覧

(令和5年度)

名 称	構 成	内 容
1 委員会		
就学支援委員会	・校長会、副校長会の代表 ・特別支援学級の代表 ・特別支援教室の代表 ・学識経験者 ・臨床心理士 ・都立特別支援学校の代表	・児童・生徒一人一人に最もふさわしい就学先を判断するために、必要な調査及び就学相談を実施する。
通級判定委員会	・校長会、副校長会の代表 ・特別支援学級の代表 ・特別支援教室の代表 ・学識経験者 ・臨床心理士	・通常の学級に在籍し、かつ、聴覚障害、言語障害又は情緒障害等により特別な支援を必要とする児童・生徒に適切な教育を受ける機会を提供するため、通級指導の可否を判定する。
2 連絡会		
特別支援教育コーディネーター連絡会	・各小中学校の特別支援教育コーディネーター ・校長会の代表	・特別支援教育に関わる研修や情報交換を行い、校内の特別支援教育の円滑な推進を図る。
3 協議会・運営委員会		
特別支援学級設置校連絡協議会	・各特別支援学級設置校校長	・特別支援学級の相互の連携を深め、指導内容の充実を図るため、その組織及び運営に関し必要な事項を定めることを目的とする。
知的障害学級運営委員会	・知的障害学級設置校校長、副校長、学級担任	・知的障害学級の相互の連携を深め、指導内容及び運営に関して充実を図る。
肢体不自由学級運営委員会	・肢体不自由学級設置校校長、副校長、学級担任	・肢体不自由学級の相互の連携を深め、指導内容及び運営に関して充実を図る。
難聴・言語障害学級運営委員会	・難聴・言語障害学級設置校校長、副校長、学級担任	・難聴・言語障害学級の相互の連携を深め、指導内容及び運営に関して充実を図る。
病弱学級運営委員会	・教育長 ・武蔵野赤十字病院長 ・病弱学級設置校校長、副校長、学級担任 ・医師、看護師、臨床心理士、保育士	・病弱学級と武蔵野赤十字病院との相互の連携を深め、学級運営に関して充実を図る。
特別支援教室運営委員会	・特別支援教室設置校校長、副校長、学級担任	・特別支援教室の相互の連携を深め、指導内容及び運営に関して充実を図る。

⑤ 教育支援課主催 教職員等研修一覧

(令和5年度)

回数：半日を1回

対 象 者	概 要	回 数
・特別支援教育専門員 ・交流共同学習支援員	・市の現状や取組について研修し、特別支援教育の充実を図る。	1

2 - 2 校内研究活動

(令和5年度)

学 校 名	研 究 主 題 等	対象教科・領域等
第一小学校	自立した読者の育成～国語科「読むこと」の学習を通して～	国語科
第二小学校	自分の考えをもち、協働して学ぶ児童の育成	算数科
第三小学校	自分の思いや考えをもち、深める児童の育成 ～子供主体の対話的な学びを通して～	算数科・国語科
第四小学校	自信を高め、意欲を育む教育	各教科等
第五小学校	『夢をかなえる』武蔵野市民科を目指して	算数科
大野田小学校	対話を通して思いや考えを深め、主体的に取り組む児童の育成 ～市民科とそれにつながる学習を通して～	各教科等
境南小学校	自分の思いをもって 高めあう子の育成 ～子どもが夢中になれる環境づくりを通して～	各教科等
本宿小学校	自分の思いや考えを伝え合い、学びを深める子どもの育成 ～ICT 機器の効果的な活用を通して～	各教科等
千川小学校	「考え 取り組み 振り返る 自ら学ぶ児童の育成」 ～ICT 機器を活用した授業を通して～	各教科等
井之頭小学校	対話や話し合いを通して考えを広げたり、深めたりできる児童の育成	各教科等
関前南小学校	物語を自ら読み深める児童の育成 ～「言葉による見方・考え方」を働かせた 深い学びの実現を図る授業づくり～	国語科
桜野小学校	対話・話し合いを通して、多様性を認め合う児童の育成 ～『話すこと・聞くこと』の指導を通して～	国語科
第一中学校	指導と評価の一体化 ～主体的に学習に取り組む態度をどう評価していくか～	各教科等
第二中学校	「武蔵野市民科の充実に向けて」	総合的な学習の 時間等
第三中学校	指導と評価の一体化に向けた授業改善	各教科等
第四中学校	「主体的に学習に取り組む態度」の見取りと学習者用コンピュータ等の ICT 有効活用の推進	各教科等
第五中学校	GIGA スクールに向けた、ICT を活用する授業の実践	各教科等
第六中学校	GIGA スクール実現のための Chrome 活用 ～Google Workspace を授業で有効活用するために～	各教科等

2 - 3 研究指定校等一覧

◇ 武蔵野市（令和5年度）

① 教育課題研究開発校（継続2校：第三小学校・関前南小学校）

（新規3校：第四小学校・大野田小学校・第三中学校）

学 校 名	研究課題	研 究 主 題	年次
大野田小学校	市民性の育成	対話を通して思いや考えを深め、主体的に取り組む児童の育成 ～市民科とそれにつながる学習を通して～	2－1
第四小学校	自信を高め、意欲を育む	自信を高め、意欲を育む教育	2－1
第三中学校	授業改善	指導と評価の一体化に向けた授業改善	2－1
第三小学校	見方・考え方	自分の思いや考えをもち、深める児童の育成 ～主体的・対話的で深い学びの実現を通して～	2－2
関前南小学校	見方・考え方	物語を自ら読み深める児童の育成 ～「言葉による見方・考え方」を働かせた深い学びの実現を図る授業づくり～	2－2

② 教育研究奨励校（新規1校）

学 校 名	教科等	研 究 主 題	年次
境南小学校	生活・総合等	自分の思いをもって 高めあう子の育成 ～子どもが夢中になれる環境づくりを通して～	2－1

③ 学校・家庭・地域の協働体制に係るモデル事業 新規2校

学 校 名	内 容	年次
境南小学校 第一中学校	機能強化した開かれた学校づくり協議会の運営や地域学校協働活動の促進	2－1

◇ 東京都・国 等（令和5年度）

事 業 名	対 象 校
愛鳥モデル校（都）	井之頭小学校
教育課程実践検証協力校（国立教育政策研究所）	第三小学校

2 - 4 教育推進室

平成27年4月、下記の5つの機能（相談・支援、研修、教育情報収集・発信、調査・研究、ネットワーク構築・コーディネート）を先行して行う教育推進室を開室しました。5つの機能の他に、「地域コーディネーター」の各小中学校への配置、教員の多忙化解消のための各種会計年度任用職員の配置など多くの取組を行っています。また、平成30年4月から教育アドバイザー事業を拡充し、学校経営に関する校長等への支援も行っています。

令和5年度からは、さらに「学校・家庭・地域の協働体制推進」機能が加わり、開かれた教育課程の実現に向けて取り組んでいます。

教育推進室の 6つの機能ほか	主 な 内 容
相 談 ・ 支 援	・教職員に対する相談・支援 ・教職員に対する研究や研修等の協議をもつ場の提供 ・学級崩壊やいじめ等への緊急対応支援 ・通常の学級における特別な教育的支援の必要な児童等へのSSの派遣事業等 ・外部スタッフの任用等の事務 ・共用備品の貸し出し等
研 修	・若手教員育成研修の実施支援 ・臨時的任用教員（産休育休代替）の指導・支援 ・職層研修の実施支援 ・重点事業や教育課題に関する委員会等の実施支援
教 育 情 報 収 集 ・ 発 信	・学校情報システム等を活用した情報発信 ・教科書展示・閲覧 ・最新の教育情報（文科省・審議会、各種教育課題等）の発信等
調 査 ・ 研 究	・本市が抱える当面の教育課題に対する調査・研究 ・授業改善や児童・生徒理解に資する調査・研究 ・学校・家庭・地域の協働体制モデル校の研究・検証
ネットワーク構築 コーディネート	・学校支援協力者リストの作成及び学校への紹介 ・地域コーディネーターの活用 ・地域の教育力による学校教育への支援 ・中学校職場体験受入事業所の調整 ・大学におけるインターンシップ受入れ・調整
学校・家庭・地域の 協働体制推進	・学校・家庭・地域の協働体制モデル校の運営支援 ・開かれた学校づくり協議会の支援、代表者会の開催 ・「地域と学校の協働通信」の発行
そ の 他	・教科書・指導書の貸出 ・学校共有貸出備品の購入・貸出 ・教員の多忙化解消のための副校長等事務補助、学習指導補助員、学習支援教室指導員及び学校司書（会計年度任用職員）の配置

2 - 5 武蔵野市立小中学校教育研究会

令和3年度より中学校でも全面実施となった新学習指導要領には、人生を主体的に切り拓くための学びを通して、より自立的に生きる力を育もうとする姿勢が示されており、教職員の自己啓発がより一層求められています。

武蔵野市における未来の学校教育のあり方として、市立小中学校の教職員が共に学ぶ場である本教育研究会は、校種を超えて相互理解を深め、小中学校の連携を一層強化することができる貴重な場でもあります。

① 目標

「自ら人生を切り拓き、多様な他者と協働してよりよい未来の創り手となる子供を育てよう」

② 活動方針

- ◎生きる力を支え、あらゆる学びの基盤となり、これからの時代に求められる資質・能力を育てよう。
- ◎子どもたちが自分の良さや可能性を認識し、自信を高め、意欲を育む教育を実践しよう。
- ◎多様な他者と協働しながら、よりよい社会を創っていくための多様性を生かす教育を実践しよう。
- ◎豊かな教育資源を活用し、学校・家庭・地域と協働した教育実践を推進しよう。

③ 事業計画

(令和5年度)

研 究 活 動	文 化 活 動	広 報 活 動
○専門部会（8回） 小学校（8回） 中学校（5回） ○管外視察（公募） ○研究実践奨励 （グループ及び個人） ○研究発表会 2月	○講演会（9月） ○関連事業 ・連合音楽会（小中別） ・音楽鑑賞教室（小中別） ・演劇鑑賞教室（小中別） ・美術展（小中合同） ・書写展（小中合同） ・ジョイントコンサート ○文集「けやき」発行	○武教研「広報」9月発行 ○研究紀要 「令和5年度 武蔵野教育」 3月発行

2 - 6 教科用図書及び副読本

① 小学校教科用図書（令和2年度～令和5年度使用）

教 科	教 科 書 名	発 行 者	教 科	教 科 書 名	発 行 者
国 語	国 語	光 村	生 活	せ い か つ	光 村
書 写	書 写	光 村	音 楽	音 楽のおくりもの	教 出
社 会	新 し い 社 会	東 書	図 工	図 画 工 作	開 隆 堂
地 図	楽しく学ぶ小学生の	帝 国	家 庭	わたしたちの家庭科	開 隆 堂
	地 図 帳		保 健	みんなの保健	学 研
算 数	新 し い 算 数	東 書	英 語	Here We Go!	光 村
理 科	た の し い 理 科	大 日 本	道 徳	新 し い 道 徳	東 書

② 中学校教科用図書（令和3年度～令和6年度使用）

教 科	教 科 書 名	発 行 者	教 科	教 科 書 名	発 行 者
国 語	国 語	光 村	音 楽(一般)	中 学 生 の 音 楽	教 芸
書 写	中 学 書 写	教 出	音 楽(器楽)	中 学 生 の 器 楽	教 芸
社会(地理)	社会科 中学生の地理	帝 国	美 術	美 術	日 文
社会(歴史)	新しい社会 歴史	東 書	保健体育	中 学 保 健 体 育	学 研
社会(公民)	新しい社会 公民	東 書	技術・家庭(技)	新しい技術・家庭 技 術 分 野	東 書
地 図	中学校社会科地図	帝 国	技術・家庭(家)	技術・家庭 家庭分野	開 隆 堂
数 学	新 し い 数 学	東 書	英 語	NEW CROWN	三 省 堂
理 科	自然の探究 中学理科	教 出	道 徳	新 し い 道 徳	東 書

③ 副読本（令和５年度使用）

わたしたちの武蔵野市	小学校３・４年	社会科
武蔵野市の地図	小学校３・４年	社会科
わたしたちの東京都	小学校４年	社会科
東京都の地図	小学校４年	社会科
武蔵野市のいま・むかし	小学校１～６年	全教科
みんなの体育	小学校１～６年	体育
新しい体育実技	中学校１～３年	保健体育

２ - ７ 特別支援教育

① 特別支援学級・特別支援教室

令和６年５月１日現在

	設 置 校	学級数	児童・生徒数	連 絡 先
１．知的障害	第三小学校 ひまわり学級	３学級	２１人	４３-０５７１
	大野田小学校 むらさき学級	２学級	１６人	５１-０５１３
	境南小学校 けやき学級	４学級	２７人	３４-８３７１
	第四中学校 群咲学級	４学級	３０人	５１-７６７７
２．難聴	桜野小学校 こだま学級（通級）	１学級	７人	５４-８６５５
	第一中学校 エコールーム（通級）	１学級	５人	５１-１１３６
３．言語障害	桜野小学校 こだま学級（通級）	３学級	５３人	５４-８６５５
４．肢体不自由	大野田小学校 いぶき学級	１学級	３人	５１-０５１３
	第四中学校 いぶき学級	１学級	１人	５１-７６７５
５．病弱（院内）	境南小学校 いとすぎ学級	１学級	０人	３２-６１４０
	第六中学校 いとすぎ学級	１学級	０人	３２-６１４０
６．情緒障害等	第四小学校 はなみずき教室	特別支援 教室	７５人	２２-１４４３
	千川小学校 あさがお教室		７２人	５１-３６９５
	井之頭小学校 かわせみ教室		８７人	５１-７１８８
	桜野小学校 こぶし教室		８３人	５３-５６５１
	第二中学校 こぶし教室		７０人	５４-９１０３

※特別支援教室は学級編制をしない。

② 特別支援教育の推進

通常の学級に在籍する特別な配慮を要する児童・生徒及び、特別支援学級児童・生徒の指導の充実、学習環境の整備などを進めるとともに理解啓発を行います。

武蔵野市における特別支援教育の推進イメージ

特別支援教育推進体制の構築

○特別支援教育コーディネーター連絡会

各学校で特別支援教育推進の中心となっている教員(特別支援教育コーディネーター)を対象として、研修や情報交換を行い、校内の特別支援教育の充実につなげます。

○特別支援学級設置校連絡協議会・運営委員会

特別支援各学級の指導内容・方法について情報交換をすとともに、課題や改善について協議します。

専門性の確保

○専門家スタッフ

発達障害を専門とする大学教授等が小・中学校を年間6回訪問。授業観察を行い、対象の子どもの行動の意味や指導上の工夫などを学校に助言します。

○巡回相談心理士(特別支援教室)

都が配置した資格取得者(臨床発達心理士、特別支援教育士、学校心理士、公認心理師)が年間 40 時間、専門的な指導・支援を学校が実施するための助言を行います。

○派遣相談員

教育支援センターの公認心理師・臨床心理士を全小・中学校に週1回派遣。学級担任やコーディネーターに助言を行うとともに、子どもたちや保護者からの相談に応じます。

○都スクールカウンセラー

不登校・いじめ問題の解消や防止のため、全小・中学校に週1回配置されています。

○スクールソーシャルワーカー

6 名配置。子どもたちの抱える問題の解決を図るため、学校、家庭、地域、関係機関の連携・調整を行います。

小・中学校の取組

○校内委員会の運営

特別支援教育コーディネーターを中心に、専門家スタッフの助言や保護者の意見を取り入れながら、具体的な支援策を協議し、学校全体の協力体制を組みます。

○特別支援教育コーディネーター

各学校で2名以上の教員を指名。関係機関との連絡調整、保護者の相談窓口、担任の先生への支援など特別支援教育の中心となって活動しています。

○教員の専門性の向上

発達障害のある子どもたちの特性の理解や指導・支援の方法などを研修し、理解を深めています。

○個別指導計画・学校生活支援シート(個別的教育支援計画)

対象となる子どもたちの教育的ニーズに応じた指導を行うため、学校と保護者が協力して計画・シートを作成します。

特別支援学級(固定)の運営

学習面や対人関係など個に応じた指導を毎日行います。知的障害(小3・中1校)、肢体不自由(小・中各1校)、病弱(小・中各1校)の各学級を運営。個別指導や小集団指導に加えて通常学級との交流を進めています。

子ども・保護者のニーズ

一人一人の教育的ニーズに応じた支援

○サポートスタッフ(指導課教育推進室)

臨床心理士等を目指す大学生・大学院生が人との関わり方に困難を抱える子どもに対して、授業中の個別支援や、休み時間、給食、清掃の時間の支援を行い、学校生活への適応を図ります。

○ティーチングアシスタント(教育推進室)

教職志望の大学生が子どもたちの学習支援や教員の指導補助を行います。

○通級指導学級・特別支援教室

通常は学籍のある学校(学級)で学習している子どもが、週1回程度、決められた日時に通い、個別指導や小集団指導を受ける学級です。難聴(小・中各1校)、言語障害(小1校)、情緒障害等(小4拠点校、中1校)を設置。

○個別支援教室

在籍学級で一斉指示による学習に困難さを示す子どもを対象に、別室で指導員が個に応じた指導をします。(全小学校設置)

連携体制の構築

○都立特別支援学校との連携

センター的機能による巡回相談、助言、講師派遣を受けています。

○交流及び共同学習

特別支援学級と通常の学級との交流促進や副籍制度の充実に取り組んでいます。
交流共同学習支援員を令和2年度より小学校、令和3年度より中学校の特別支援学級(知的障害)設置校に配置。

○幼・保・小の連携

入学前の子どもたちの情報を学校へ引き継ぐ就学支援シートを活用するとともに、就学前後の相談体制の充実を図ります。

2 - 8 教育相談機関（教育支援センター）

教育支援センターでは、教育相談員及びスクールソーシャルワーカーによる相談支援、チャレンジルーム及びむさしのクレスコーレでの不登校児童・生徒への支援、帰国・外国人教育相談室での帰国・外国籍・国際結婚家庭への支援を行っています。

① 教育相談員

- ア 支援対象 武蔵野市在住の幼児・児童・生徒および保護者
- イ 活動内容 来所相談、電話相談、必要に応じて医療相談、発達検査等の実施
- ウ 学校派遣相談 週1回派遣相談員として市立小・中学校で相談支援

② スクールソーシャルワーカー

- ア 支援対象 武蔵野市在住の児童・生徒および保護者
- イ 活動内容 相談支援、学校訪問、家庭訪問、同行支援、関係機関とのネットワーク構築

③ チャレンジルーム

- ア 支援対象 武蔵野市在住の不登校児童・生徒
- イ 活動内容 居場所の提供、相談支援、学習支援、集団活動、進路相談

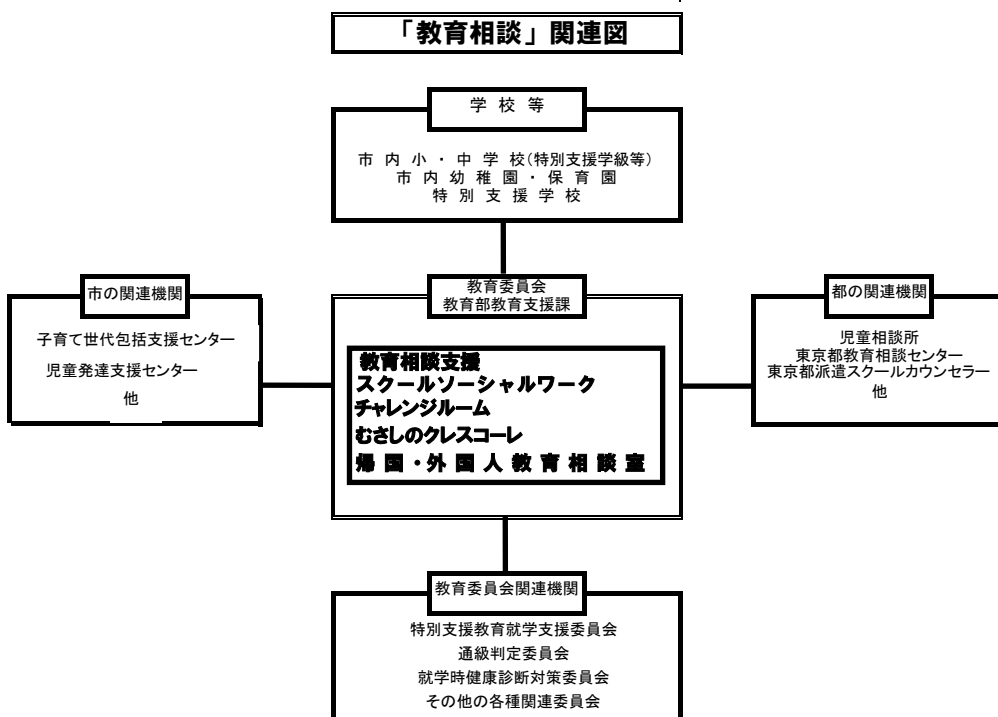
④ むさしのクレスコーレ（NP0 法人文化学習協同ネットワークに事業運営委託）

- ア 支援対象 武蔵野市在住の不登校生徒
- イ 活動内容 居場所の提供、相談支援、体験学習支援、訪問支援、同行支援、進路相談

⑤ 帰国・外国人教育相談室

- ア 支援対象 武蔵野市在住の帰国、外国籍及び国際結婚家庭の児童・生徒および保護者（日本語指導及び言語支援は、武蔵野市立小中学校在籍の児童・生徒が対象）
- イ 活動内容 相談支援、日本語指導、言語支援、学習支援（すてっぷルーム）

⑥ 教育相談関係機関



3. 教育活動

3-1 令和5年度 行事日程一覧

	小学校 移動教室	中学校 修学旅行	運動会・体育大会	学芸会・文化祭等	合唱祭 (合唱コンクール等)
目的	・日光の歴史、地形、交通、名所、植物などについて知る。 ・集団生活を通して、友情を深める。 ・自然に親しみ、心身を鍛え、生活を豊かにする。	・日本の古都、京都、奈良を見学することにより、日本の歴史や文化について理解を深める。 ・集団生活を通じて、自主性・協調性をはぐくむとともに集団行動のきまりや公衆道徳を身に付ける。	各学校による	各学校による	各学校による
第一小学校	6/29～7/1		5/27	音楽会 11/11	
第二小学校	6/22～6/24		5/27	学芸会 10/27～10/28	
第三小学校	6/21～6/23		5/20	展覧会 11/10～11/11	
第四小学校	6/20～6/22		9/30	芸術祭 11/24～11/25	
第五小学校	6/21～6/23		5/27	展覧会 11/17～11/18	
大野田小学校	6/5～6/7		10/21	アートフェスタ 11/15～11/22	
境南小学校	6/13～6/15		11/11	学習発表会 2/16～2/17	
本宿小学校	6/6～6/8		5/20	はとの子発表会 11/17～11/18 はとの子作品展 1/19～1/20	
千川小学校	6/8～6/10		5/20	SENKA輪発表会 11/10～11/11	
井之頭小学校	6/27～6/29		10/28	展覧会 1/26～1/27	
関前南小学校	6/15～6/17		5/27	学芸会 11/17～11/18	
桜野小学校	6/13～6/15		10/21	展覧会 2/15～2/16	
第一中学校		6/1～6/3	5/20	一中フェスタ 10/21	3/12
第二中学校		6/1～6/3	9/23	教科作品展 1/13～1/19	10/27
第三中学校		6/6～6/8	5/27	文化祭 10/20～10/21	3/7
第四中学校		6/6～6/8	5/27	四中祭 10/21	3/8
第五中学校		6/3～6/5	5/27	文化発表会 10/20	10/20
第六中学校		5/21～5/23	6/3	学習発表会 3/9	10/21

道徳授業 地区公開講座	オーケストラ 鑑賞教室	演劇鑑賞教室	連合音楽会	書初展	美術展	南砺市 利賀村訪問	その他	
学校、家庭及び地域社会が一体となって子どもたちの豊かな心を育むとともに、道徳教育の充実を図る。	オーケストラの演奏を聴き、それぞれの楽器の演奏法や指揮者の役割などを学習するとともに、曲の美しさを味わう。	実際の演劇を鑑賞することにより、人物の動作やセリフを学習するとともに、演劇の楽しさを味わう。	・日常の学習の成果を発表し、互いの演奏を聞きあう。 ・音楽の楽しさ、美しさを味わい、音楽を愛好する心情を育てる。	互いの作品の成果を発表し合うことで、作品を正しく鑑賞する能力や態度を養い、子どもたちの意欲を高める。		利賀村の児童や人々との交流を深めるとともに自然のすばらしさを知る。		目的
10/24,27,30	5 / 1	10/24	12/ 1	1 / 27 ～ 1 / 29	2 / 2 ～ 2 / 6	7 / 23 ～ 7 / 26	150周年記念式典 11/25	第一小学校
2 / 17							150周年記念式典 11/18	第二小学校
1 / 20							研究発表会 2 / 9	第三小学校
1 / 20								第四小学校
2 / 17								第五小学校
1 / 20								大野田小学校
5 / 27								境南小学校
10/28								本宿小学校
9 / 16								千川小学校
5 / 20								井之頭小学校
2 / 17							研究発表会 1 / 26	関前南小学校
11/17								桜野小学校
9 / 9	5 / 8	7 / 7	2 / 2					第一中学校
10/14								第二中学校
7 / 8								第三中学校
1 / 13							70周年記念式典 11/11	第四中学校
9 / 2								第五中学校
7 / 1								第六中学校

3 - 2 セカンドスクール

市立小学校5年生、市立中学校1年生全員を対象に、セカンドスクールを実施しています。セカンドスクールとは、普段の学校生活（ファーストスクール）ではできないような体験学習を、授業の一部として自然豊かな農山漁村に長期滞在して行うものです。平成4年度からの試行を経て、平成7年度から全小学校が、平成8年度からは全中学校が実施しています。また、小学校4年生を対象にした「プレセカンドスクール」も平成17年度から本格実施となり、セカンドスクールにつながる体験活動に大きな成果をあげています。市内小中学校全校による本格実施20周年を迎えた平成27年度には、これまでの取組が評価され「2015年度グッドデザイン賞（主催：公益財団法人日本デザイン振興会）」を受賞しました。急激に変化する社会環境や新学習指導要領への対応等から、「武蔵野市長期宿泊体験活動検討委員会」にて全7回の協議を重ね、令和3年3月に報告書としてまとめました。

実施期間は、小学校で5泊6日（プレセカンドスクールは2泊3日）、中学校で4泊5日です。各学校とも特色ある教育活動として、実施場所や活動内容など、創意工夫を図り、毎年充実させています。

①目的

- ・自然との触れ合いを通して、子どもたちの豊かな情操や感性をはぐくむとともに、子どもたちの知的好奇心や探究心を喚起し、課題解決への意欲や態度を培う。
- ・長期にわたる宿泊体験を通し、生活自立に必要な知識や技能を身に付けるとともに、子どもたちの豊かな人間関係を育てる。
- ・子ども同士の協働により、自主性や協調性を育てるとともに、実施地の方々との交流を通じて、進んで他者と関わる力を培う。

②これまでの経緯

平成 4年度	長野県八坂村で、夏季山村生活体験学習（6泊7日）を小学校6年生、中学校1年生の30名で実施
平成 5年度	岩手県遠野市で、夏休みに山村生活体験教室（12泊13日）を小学校4年生から中学校2年生100名で実施
平成 6年度	岩手県遠野市において、小学校5年生、中学校1年生が12泊13日で実施
平成 7年度	小学校全13校が学期中に実施（岩手県遠野市、長野県高遠町、富山県利賀村、新潟県小国町、山梨県中富町、山梨県高根町）。長野県豊科町において、中学校1年生70名（中学校6校の代表）が夏季休業中に6泊7日で実施
平成 8年度	全小・中学校が学期期間中に実施
平成15年度	「プレセカンドスクール」を小学校4校にて試行実施（翌年度10校試行実施）
平成17年度	全小学校が「プレセカンドスクール」を実施
平成27年度	本格実施20周年を迎える。「2015年度グッドデザイン賞」を受賞
令和 2年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全校中止 「武蔵野市長期宿泊体験活動検討委員会報告書」作成
令和 4年度	小学校セカンドスクールを5泊6日で実施（第二小学校を除く）

③ 主な体験活動

- ・自然体験（周辺自然観察、登山等）
- ・社会体験（田植え、稲刈りなどの農業体験や林業体験等）
- ・生活・文化体験（笹団子、ちまき等の郷土食作り、民宿・農家生活、紙すき等の伝統工芸体験等）
- ・その他（学校交流、ボランティア活動）

令和5年度セカンドスクール・プレセカンドスクール日程表

種別	学校名	実施日		実施場所	現地宿舎
小学校セカンドスクール	第一小学校	9月17日(日) ～ 9月22日(金)	5泊6日	新潟県魚沼市	民宿
	第二小学校	9月17日(日) ～ 9月23日(土)	6泊7日	富山県南砺市利賀村	民宿
	第三小学校	9月28日(木) ～ 10月3日(火)	5泊6日	新潟県南魚沼市	民宿
	第四小学校	5月26日(金) ～ 5月31日(水)	5泊6日	長野県飯山市	民宿
	第五小学校	9月15日(金) ～ 9月20日(水)	5泊6日	新潟県南魚沼市	民宿
	大野田小学校	9月20日(水) ～ 9月25日(月)	5泊6日	長野県飯山市	民宿
	境南小学校	9月30日(土) ～ 10月4日(水)	4泊5日	長野県飯山市	民宿
	本宿小学校	9月21日(木) ～ 9月26日(火)	5泊6日	新潟県南魚沼市	民宿
	千川小学校	9月4日(月) ～ 9月9日(土)	5泊6日	新潟県南魚沼市	民宿
	井之頭小学校	9月22日(金) ～ 9月27日(水)	5泊6日	長野県飯山市	民宿
	関前南小学校	9月27日(水) ～ 10月2日(月)	5泊6日	長野県飯山市	民宿
	桜野小学校	9月15日(金) ～ 9月20日(水)	5泊6日	長野県飯山市	民宿
中学校セカンドスクール	第一中学校	9月19日(火) ～ 9月23日(土)	4泊5日	長野県北安曇郡白馬村	民宿3泊、ホテル1泊
	第二中学校	5月23日(火) ～ 5月27日(土)	4泊5日	新潟県十日町市松之山	ホテル
	第三中学校	9月25日(月) ～ 9月29日(金)	4泊5日	長野県北安曇郡白馬村	民宿2泊、ホテル2泊
	第四中学校	9月26日(火) ～ 9月30日(土)	4泊5日	群馬県みなかみ町	セミナーハウス1泊、民宿2泊、ホテル1泊
	第五中学校	9月11日(月) ～ 9月15日(金)	4泊5日	長野県北安曇郡白馬村	民宿3泊、ホテル1泊
	第六中学校	9月7日(木) ～ 9月11日(月)	4泊5日	長野県安曇野市	ホテル2泊 公営宿泊施設2泊
小学校プレセカンドスクール	第一小学校	10月18日(水) ～ 10月20日(金)	2泊3日	山梨県南都留郡山中湖村	ホテル
	第二小学校	9月27日(水) ～ 9月29日(金)	2泊3日	山梨県南都留郡山中湖村	ホテル
	第三小学校	5月31日(水) ～ 6月2日(金)	2泊3日	新潟県南魚沼市	民宿
	第四小学校	7月5日(水) ～ 7月7日(金)	2泊3日	東京都西多摩郡奥多摩町	民宿
	第五小学校	9月27日(水) ～ 9月29日(金)	2泊3日	山梨県南都留郡山中湖村	ホテル
	大野田小学校	6月14日(水) ～ 6月16日(金)	2泊3日	山梨県南都留郡山中湖村	ホテル
	境南小学校	9月13日(水) ～ 9月15日(金)	2泊3日	山梨県南都留郡山中湖村	ホテル
	本宿小学校	10月4日(水) ～ 10月6日(金)	2泊3日	山梨県南都留郡富士河口湖町	ホテル
	千川小学校	10月4日(水) ～ 10月6日(金)	2泊3日	山梨県南都留郡富士河口湖町	ホテル
	井之頭小学校	10月4日(水) ～ 10月6日(金)	2泊3日	東京都西多摩郡奥多摩町	民宿
	関前南小学校	9月13日(水) ～ 9月15日(金)	2泊3日	静岡県島田市	公営宿泊施設
	桜野小学校	9月6日(水) ～ 9月8日(金)	2泊3日	山梨県南都留郡山中湖村	ホテル

4. 高等学校等修学支援事業

4 - 1 高等学校等入学準備金

教育を受ける機会の充実を図ることを目的とし、高等学校等の入学準備に必要な費用（学用品の購入など）について経済的援助を入学前に行う制度です。就学援助の認定要件を満たしている方が対象です（平成 28 年度より）。

令和 5 年度 高等学校等入学準備金支給状況

支給人数：93 人 支給額：60,000 円／1 人 支給総額：5,580,000 円

4 - 2 高等学校等修学給付金

高校生のいる世帯に対する教育費（授業料以外）の負担軽減を目的とした給付金制度です。東京都奨学給付金制度の対象である生活保護受給世帯・市民税都民税所得割額非課税世帯を除いた一定所得以下の世帯が対象です（平成 29 年度より）。

令和 5 年度 高等学校等修学給付金支給状況

支給人数：263 人 支給額：50,000 円／1 人 支給総額：13,150,000 円

5. 就学援助費・特別支援教育就学奨励費

5 - 1 就学援助費

教育基本法、学校教育法等に基づき、要保護児童・生徒並びに、経済的な理由により就学することが困難と市教育委員会で認定した準要保護児童・生徒の保護者に対し、学校教育活動に必要な費用（学用品費、校外活動費、給食費等）の援助を行い、義務教育の円滑な実施を図るものです。

令和 5 年度 就学援助費支給状況（給食費合算）

＜小学校＞ 認定者数：537 人 支給総額：41,383,156 円

＜中学校＞ 認定者数：346 人 支給総額：37,048,033 円

※認定者数には、次年度入学児童生徒への新入学学用品費の入学前支給を実施した人数を含む。

5 - 2 特別支援教育就学奨励費

教育基本法、学校教育法、特別支援学校への就学奨励に関する法律等に基づき、特別支援学級に通う児童・生徒の保護者に対し、教育費の一部（通学費、学用品費等）を補助することにより保護者の経済的負担を軽減するものです。

令和 5 年度 特別支援教育就学奨励費支給状況（給食費合算）

＜小学校＞ 支給人数：29 人 支給総額：735,061 円

＜中学校＞ 支給人数：9 人 支給総額：938,553 円

6. 学校保健・体育

6 - 1 学校保健

① 定期健康診断

児童・生徒及び教職員の健康の増進を図り、学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資することを目的として、毎年定期的に行っています。

② 就学時健康診断

就学予定者の心身の状況を的確に把握し、就学に当たって、保健上必要な勧告、助言を行うとともに、適正な就学を図ることを目的に、毎年10月から11月の間に行っています。

③ 委員会等一覧

名 称	構 成	内 容
就学時健康診断 対策委員会	・市立学校長、養護教諭 ・教育支援課職員	就学時健康診断を円滑に実施するため、 実施内容・方法等について検討を行う。
武蔵野市学校 保健委員会	<各小中学校保健委員会> ・各小中学校の校長、副校長、 保健主任、養護教諭 ・各小中学校の学校医、学校歯科 医、学校薬剤師 ・各小中学校の児童生徒の保護者 の代表者 <幹事会> ・校長会・副校長会の各代表者 ・東京都多摩府中保健所の代表者 ・健康福祉部健康課長 ・教育部統括指導主事 ・教育部教育支援課長 ・教育部教育支援課学務係学校 保健給食担当係長	・各学校の学校保健員会及び委員を 代表する幹事会で組織する。 ・各学校保健委員会は、市教育委員 会の基本方針に基づき、各学校の実 情に応じた活動方針を定め、その方 針に沿って学校保健に関する活動を 行う。 ・幹事会は、各学校の児童及び生徒 の健康づくりの推進並びに学校保健 活動の充実及び発展を図るために検 討をする。

6 - 2 学校体育

① 市内中学校総合体育大会

市内公私立中学校の生徒が、各種競技の正しい知識と技術を修得し、体育に対する興味と関心を深め健全な心身を鍛えるとともに、望ましい社会性を身に付けるために開催しています。この体育大会を円滑に実施するため、校長、副校長、教員、市教委の委員によって、市内中学校総合体育大会運営委員会を設置し、競技種目、実施日程、大会運営等について協議を行っています。競技種目は、バスケットボール、バレーボール、バドミントン、卓球、剣道、サッカー、野球、ソフトテニス、硬式テニス、陸上競技です。